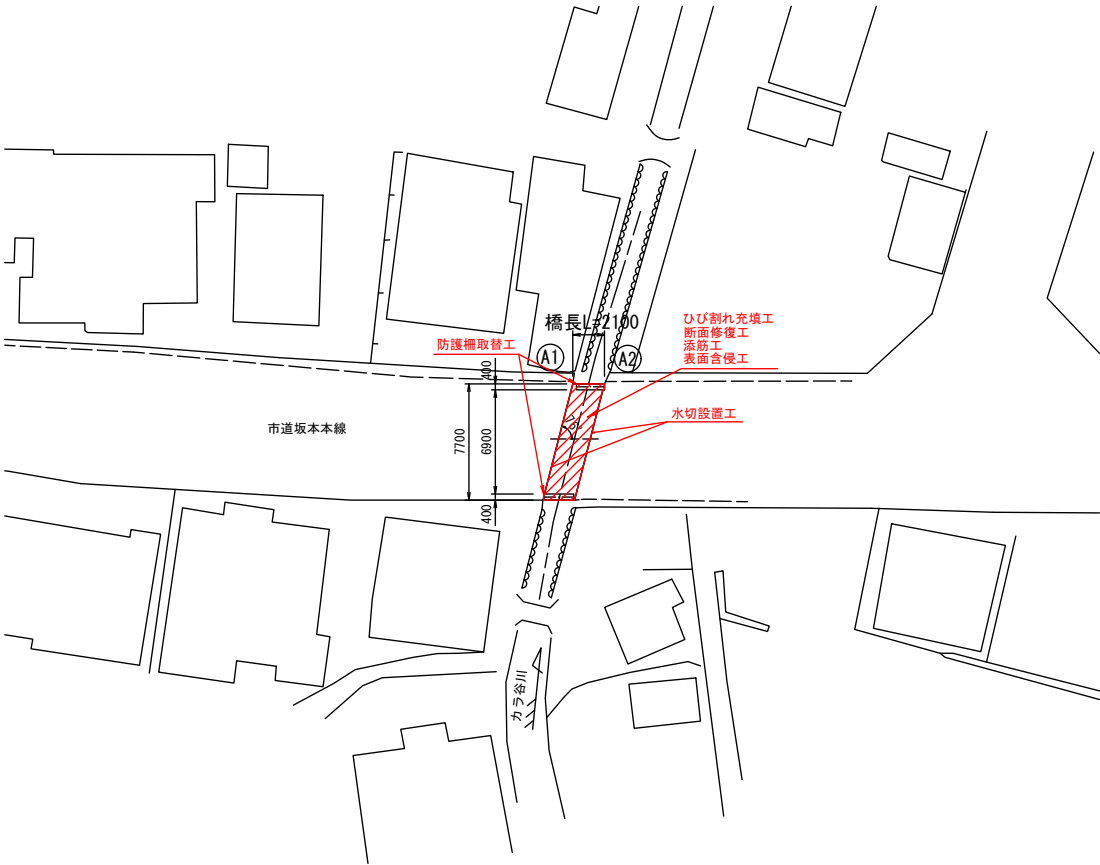
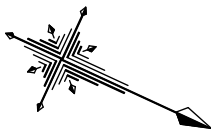


平 面 図

カラ谷橋(市道坂本本線)

S=1:250



注記)
・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

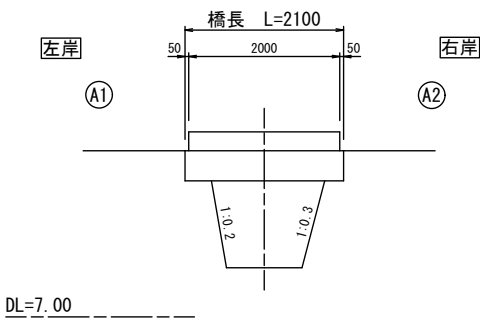
室戸市				
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事			
図面名称	平面図	縮 尺	1:250	
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)			
工事箇所	室戸市 室戸岬町			
設計種別	実施設計	図 面 号	1 6	
事務所名	室戸市建設土木課			
会 社 名				

既設橋一般図

カラ谷橋(市道坂本本線)

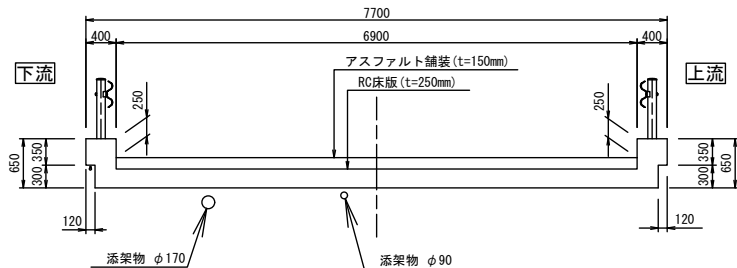
側面図

S=1:50



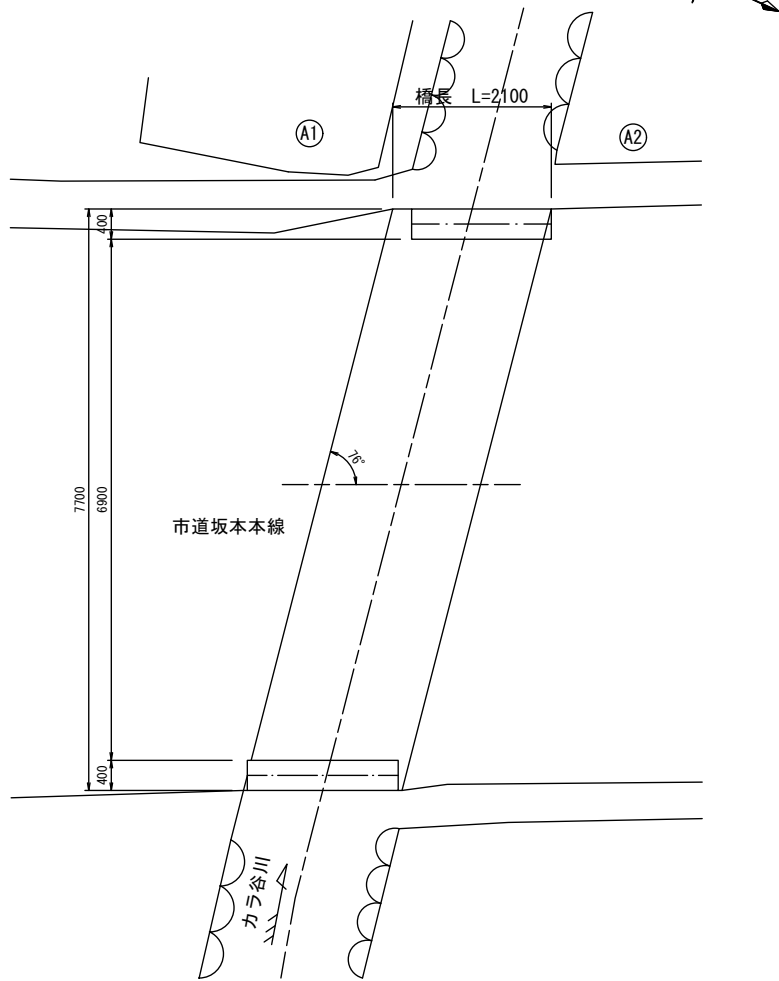
上部工断面図

S=1:50



平面図

S=1:50



既設橋 設計条件(推定)

橋 種	道路橋		
橋 長	L=2.10m		
幅 員	車道幅員	W=6.90m	
	歩道幅員	-	
	合 計	W=6.90m	
構造形式	上 部 構 造	RC中実床板橋	
	下 部 構 造	A1橋台	重力式橋台
		A2橋台	重力式橋台
設 計 荷 重	不明		
平 面 線 形	$\theta=75^\circ$		
補修・補強履歴	不明		
架 設 年 次	不明		
適用示方書	不明		

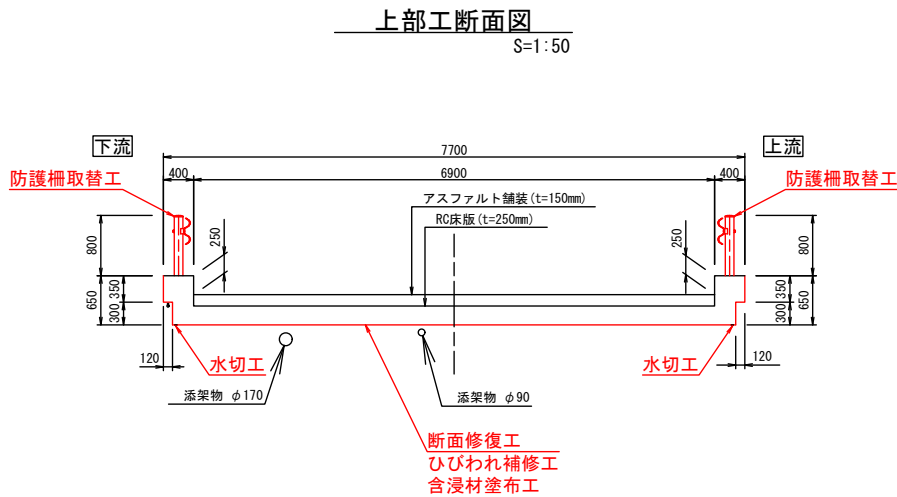
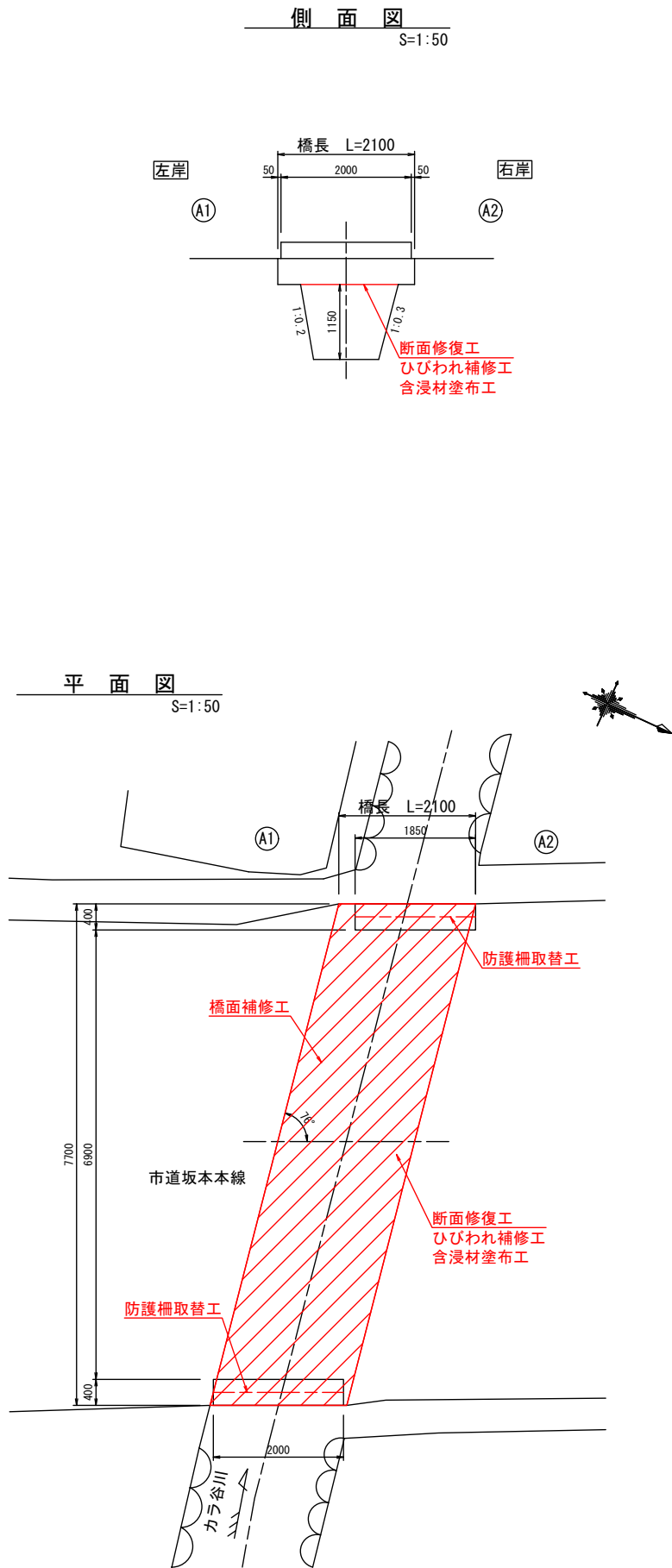
- 注記)
- ・現況地形は道路台帳を基に作成している。
 - ・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
 - ・河川は室戸市管理である。
 - ・本地区は砂防指定地ではない。

室戸市

工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	既設橋一般図	縮 尺	1:50
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	2 6
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

橋 梁 補 修 工 一 般 図

16_カラ谷橋(市道坂本本線)



(表-1)カラ谷橋 損傷調査一覧表

部材名称	損 傷				補修設計		備 考
	種 類	有無	判定区分	損傷の状態・原因	設計	対策工	
			点検 今回				
上部工 (鋼部材)	鋼材腐食、防食機能の劣化						
	鋼材腐食(板減あり)						
	亀裂、破断						
	鋼板のうき						
	ゆるみ、脱落						
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ						
	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
上部工 床 板 (コン部材)	ひびわれ	○	Ⅲ	Ⅲ	かぶり不足、中性化の進行による 鋼材腐食	○ ひびわれ補修工	純かぶり15mm
	漏水・遊離石灰	－					
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			かぶり不足、中性化の進行による 鋼材腐食	○ 断面修復工	純かぶり15mm
	豆板、欠損	○					
下部工	ひびわれ	○	Ⅱ	Ⅰ ～ Ⅱ	不明	×	
	遊離石灰	－					
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			不明	×	
	豆板、欠損	－					
	洗掘	○			流水による洗掘	×	
支承工	腐食、防食機能の劣化						
	機能障害						
橋面工	A s 舗装のひび割れ、欠損	○	Ⅱ	Ⅱ	経年劣化	×	維持管理で対応
	C o 舗装のひび割れ、欠損	－					
	路面の凹凸	○			経年劣化	×	維持管理で対応
	伸縮装置の損傷、機能不足	－					
排水工	腐食、欠損	－					
	機能不足、滞水	－					
高欄工 (鋼部材)	変形・欠損	○	Ⅰ	Ⅱ ～ Ⅲ	車両の衝突	○ 防護柵取替工	
	腐食・塗装劣化	○			経年劣化	○ 防護柵取替工	
	ボルトの緩み・脱落	○			経年劣化	○ 防護柵取替工	
高欄工 (コン部材)	ひびわれ						
	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
コンクリート 試験結果	圧縮強度		○	別紙参照			
	中性化深度測定		×	別紙参照	○	含浸材塗布工	
	塩化物含有量試験		○	別紙参照	○	含浸材塗布工	

注記) ハッチング部は、損傷の判定区分Ⅲもしくはコンクリート試験のOUTを示す。

カラ谷橋 コンクリート試験結果

項 目	単位	評価値	調査値	判定	備 考
圧縮強度	N/mm2	18	34.3	○	○:18以上
中性化	深 さ	mm	55.3		
	残り深さ	mm	~40.3	×	○:10以上
	到達年数	年	100	×	○:100以上
塩化物含有量試験	kg/m3	1.2	1.11	△	○:1.2以下

既設橋 設計条件(推定)

橋 種	道路橋		
橋 長	L=2.10m		
幅 員	車道幅員	W=6.90m	
	歩道幅員	-	
	合 計	W=6.90m	
構造形式	上 部 構 造	RC中実床板橋	
	下 部 構 造	A1橋台	重力式橋台
		A2橋台	重力式橋台
設 計 荷 重	不明		
平 面 線 形	θ=75°		
補修・補強履歴	不明		
架 設 年 次	不明		
適用示方書	不明		

- 注記)
- ・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
 - ・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
 - ・ 河川は室戸市管理である。
 - ・ 本地区は砂防指定地ではない。

室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁補修工一般図	縮 尺	1:50
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	3 6
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

コンクリート補修工詳細図

カラ谷橋（市道坂本本線）

平面図

S=1:30

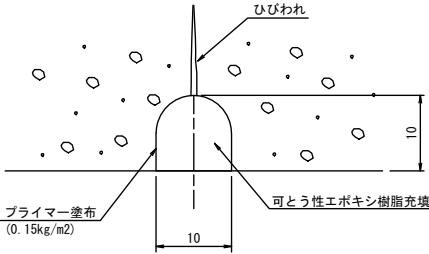
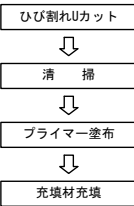
桁下面

ひびわれ充填工

S=1:5

損傷：ひびわれ幅 W=1.0mm以上

ひび割れ充填工施工フロー



ひび割れ充填工(可とう性エポキシ樹脂)

100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
プライマー	エポキシ樹脂系	kg	0.5	0.010×3×100×0.15×1.20
充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	15.6	0.010×0.010×100×1300×1.20

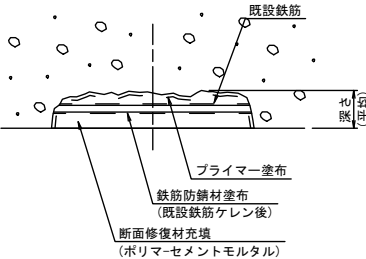
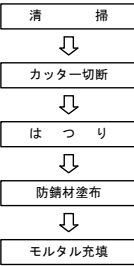
注記)
・上表は、幅10mm深さ10mmの数量を示す。
・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

断面修復工(左官工法)

S=1:3

損傷：鉄筋露出、浮き、欠損

断面修復工施工フロー



断面修復工(深さt=50mm)

10m²当り

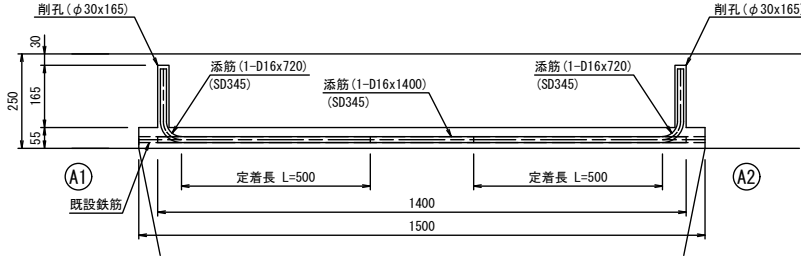
名 称	単 位	数 量	備 考
ポリマーセメント系モルタル	m ³	0.59	10×0.050×1.18

注記)
・上表は、深さ50mmの数量を示す。
・断面修復工の深さは鉄筋探査の結果より設定している。
・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

添筋工(鉄筋露出-1)

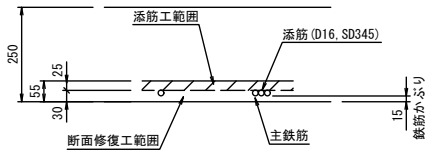
S=1:10

側面図



添筋工詳細断面図

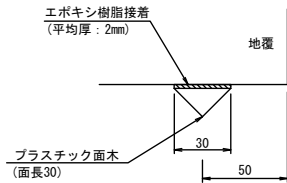
S=1:10



注記)
・鉄筋かぶりは調査結果に基づく。
・施工時に既設橋の鉄筋径を健全部で計測し、添筋の鉄筋径を適宜変更すること。
・鉄筋の必要定着長が確保できない場合、断面修復工の施工範囲までを定着長とする。
・床板下面の削孔位置や深さ等、現地状況に応じて適宜変更すること。
・添筋の本数や長さなど、現地実測の上で適宜変更すること。
・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。
・既設鉄筋及び添筋の防錆処理を行うこと。

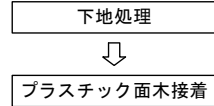
水 切 工

S=1:2



注記)
・本図ではプラスチック面木としている。
・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。

水切工施工フロー



損傷数量表

▽ ～
損傷：ひびわれ(W=1.0mm以上)
対策工：ひび割れ充填工

番号	W(mm)	L(mm)
1	1.8	1800
合計		1800

▽ ○
損傷：鉄筋露出
対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m ²)
1	1500	900	1.350
2	1050	750	0.788
3	200	100	0.020
4	950	50	0.048
5	400	50	0.020
6	100	50	0.005
7	200	100	0.020
8	800	250	0.200
9	1500	1400	2.100
合計			4.55

△ ○
損傷：うき
対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m ²)
1	400	450	0.180
2	250	200	0.050
3	600	300	0.180
4	150	700	0.105
5	350	180	0.063
6	250	250	0.063
7	1400	100	0.140
合計			0.78

□ ×
損傷：欠損
対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m ²)
1	300	200	0.060
合計			0.06

損傷凡例(コンクリート)

記 号	番号	損 傷			補修対象
		状態	有無	作図	
～	◇	ひびわれ(W<0.2mm)	○		
～	○	ひびわれ(0.2mm≤W<1.0mm)	○	○	○
▽	▽	ひびわれ(1.0mm≤W)			
○	□	遊離石灰			
○	△	漏水			
○	□	剥離			
○	▽	鉄筋露出	○	○	○
○	△	浮き	○	○	○
○	◇	豆板			
○	□	欠損	○	○	○
○	▽	洗掘			

・損傷のある場合は「○」を示す。

室 戸 市

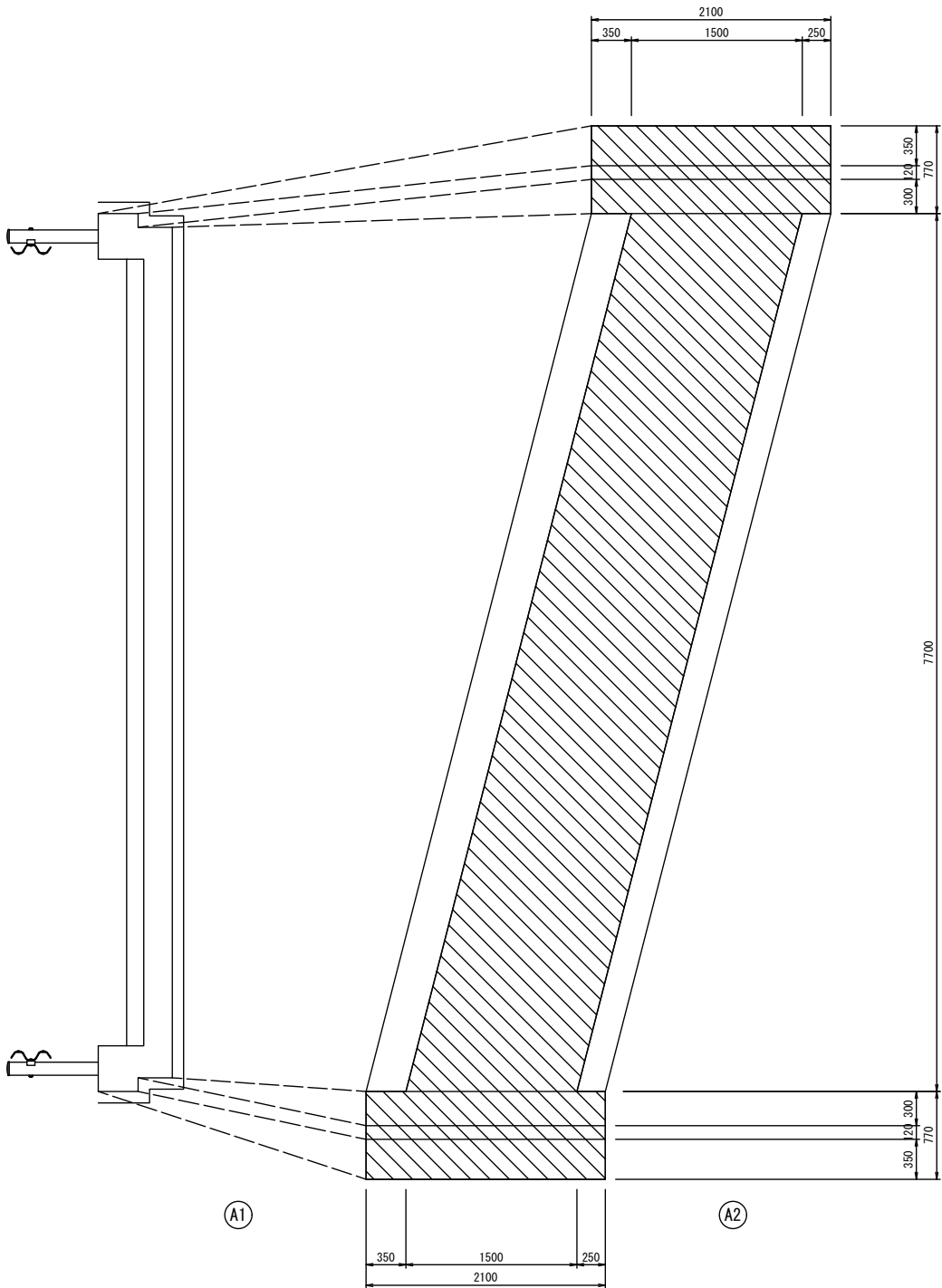
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	コンクリート補修工詳細図	縮 尺	図 示
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	4 6
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

表面含浸工詳細図

カラ谷橋（市道坂本本線）

上部工展開図

S=1:30



カラ谷川

16.カラ谷橋

表面含浸工塗布量参考値（リフレα）

部材名	鉄筋	鉄筋径 (mm)	かぶり		塩素量 (試験値) (kg/m3)	モル比 濃度 (%)	計算 係数	塗布量		備考
			縁端 (cm)	中心 (cm)				計算値 (kg/m2)	設計値 (kg/m2)	
RC床版	主鉄筋	φ16	1.5	2.3	1.11	1:1	0.0373	0.095	α 40	
	配力筋	φ16	3.1	3.9	1.01	40%	0.0373	0.147	0.20	

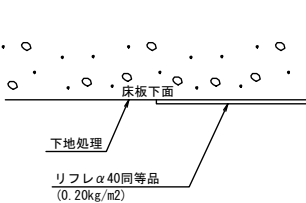
- 塗布量計算値＝中心かぶり×塩素量×計算係数
- 鉄筋径と縁端かぶりは調査に基づく推定値、塩素量は試験値を示す。
- 塗布量は材料により異なるため、使用する材料を決定した後、適切な塗布量を検討すること。

係数一覧

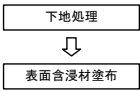
モル比	濃度 (%)	係数
0.6	25	0.0358
0.6	40	0.0224
1	25	0.0596
1	40	0.0373

含浸材塗布工

中性化・塩害対策



含浸材塗布工エフロー



カラ谷橋 コンクリート試験結果

項 目	単 位	評 価 値	調 査 値	判 定	備 考
圧縮強度	N/mm2	18	34.3	○	○:18以上
中性化	深 さ	mm	55.3		
	残り深さ	mm	10	×	○:10以上
	到達年数	年	100	×	○:100以上
塩化物含有量試験	kg/m3	1.2	1.11	△	○:1.2以下

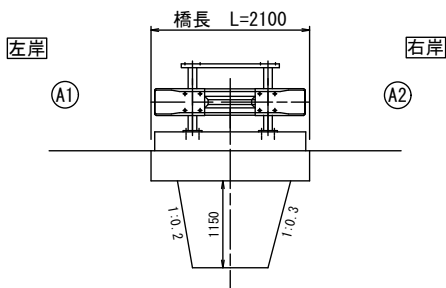
室戸市				
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事			
図面名称	表面含浸工詳細図	縮 尺	図 示	
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)			
工事箇所	室戸市 室戸岬町			
設計種別	実施設計	図 面 番 号	5	
事務所名	室戸市建設土木課		6	
会 社 名				

橋面補修工詳細図

16_カラ谷橋(市道坂本本線)

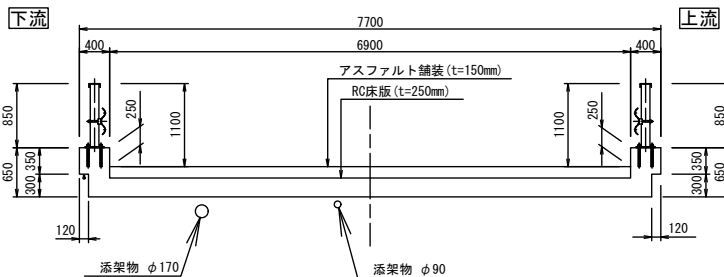
側面図

S=1:50



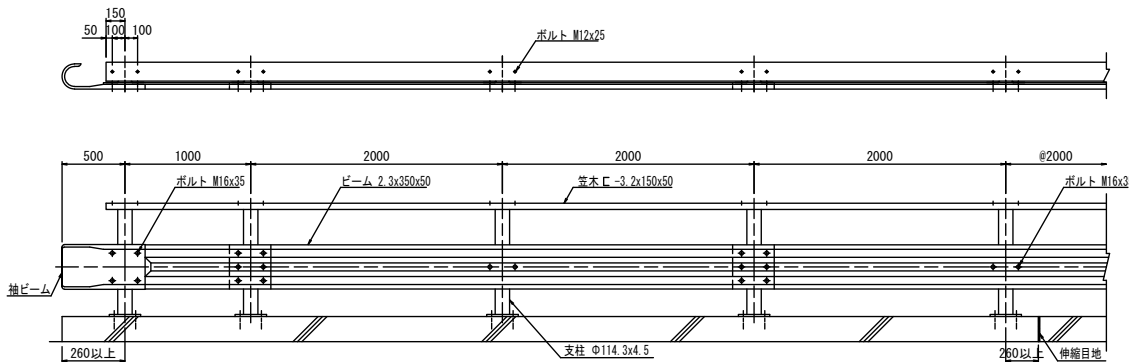
上部工断面図

S=1:50



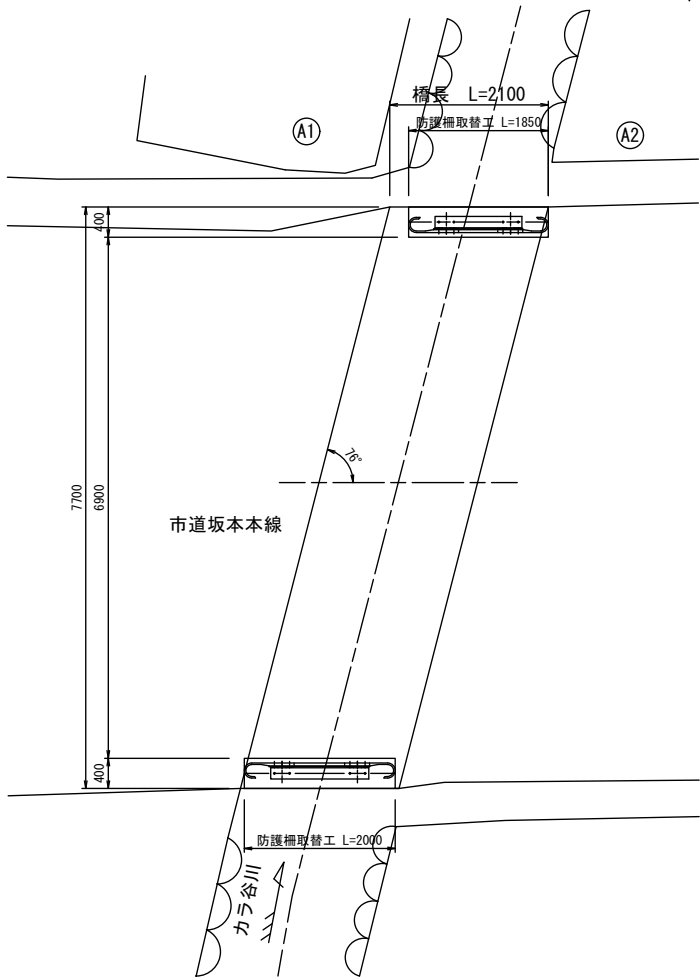
組立図(参考)

S=1:30



平面図

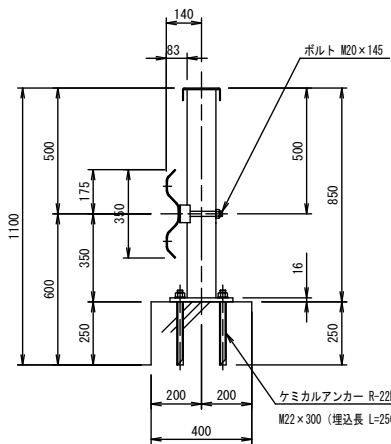
S=1:50



防護柵取替工(参考図)

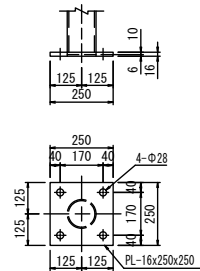
支柱

S=1:15



ベースプレート詳細

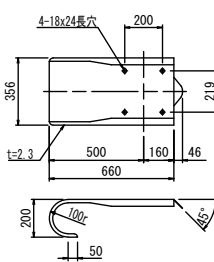
S=1:15



- 注)
1. コンクリートの設計基準強度は 18N/mm²以上のこと
 2. コンクリート端部やコンクリートが分離している
伸縮目地などからは、支柱中心押さえて260mm以上離すこと

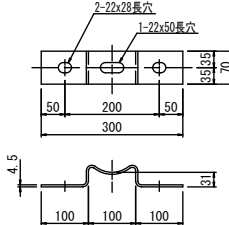
袖ビーム

S=1:20



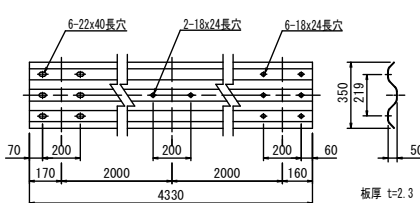
ブラケット

S=1:8



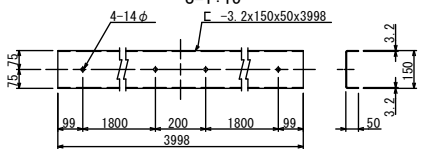
ビーム

S=1:20



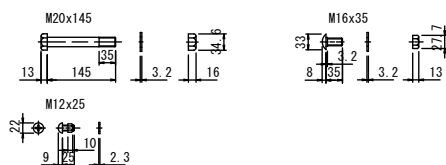
笠木

S=1:15



取付ボルト

S=1:8



室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	橋面補修工詳細図	縮 尺	図 示
路線河川名	カラ谷橋(市道坂本本線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	6 6
事務所名	室戸市建設土木課		
会社名			

平面図

ヤナゴ谷橋(市道三津本線)

S=1:250



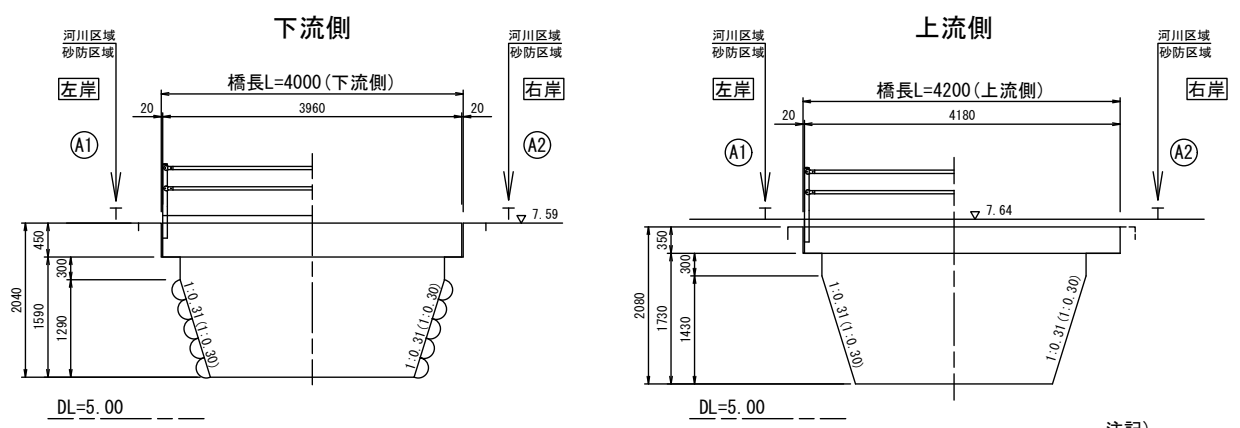
注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	平面図	縮 尺	1:250
路線河川名	ヤナゴ谷橋(市道三津本線)		
工事箇所	室戸市室戸岬町三津		
設計種別	実施設計	図 面 号	1 5
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

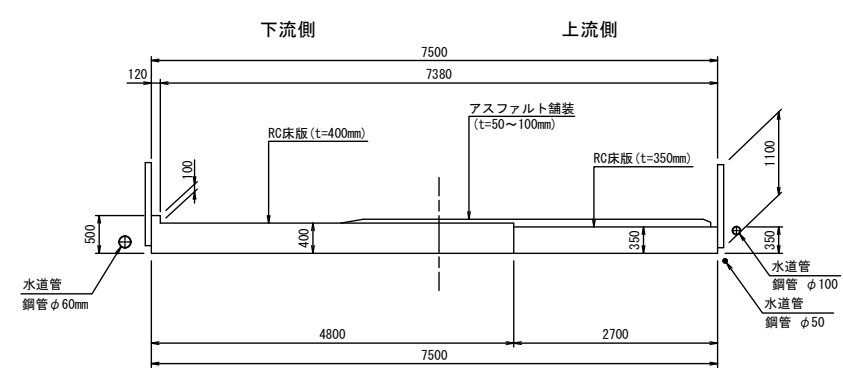
既設橋一般図

ヤナゴ谷橋(市道三津本線)

側面図
S=1:50



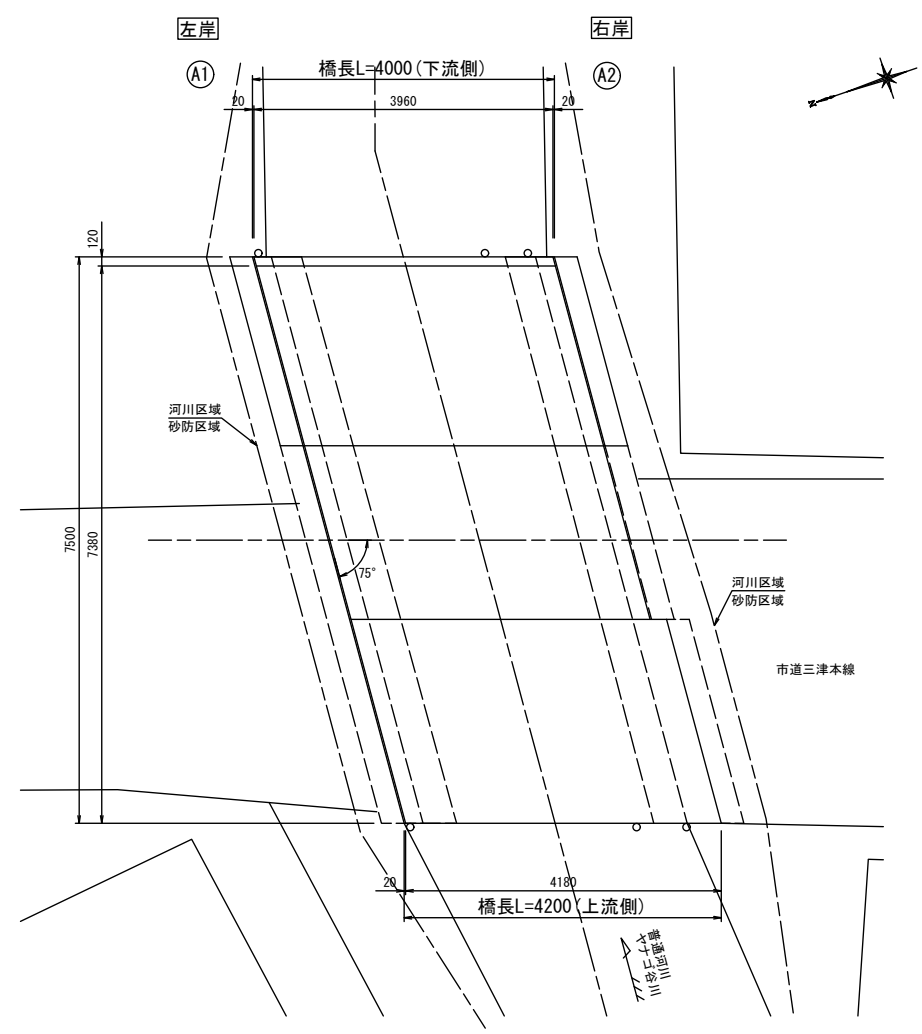
上部工断面図
S=1:50



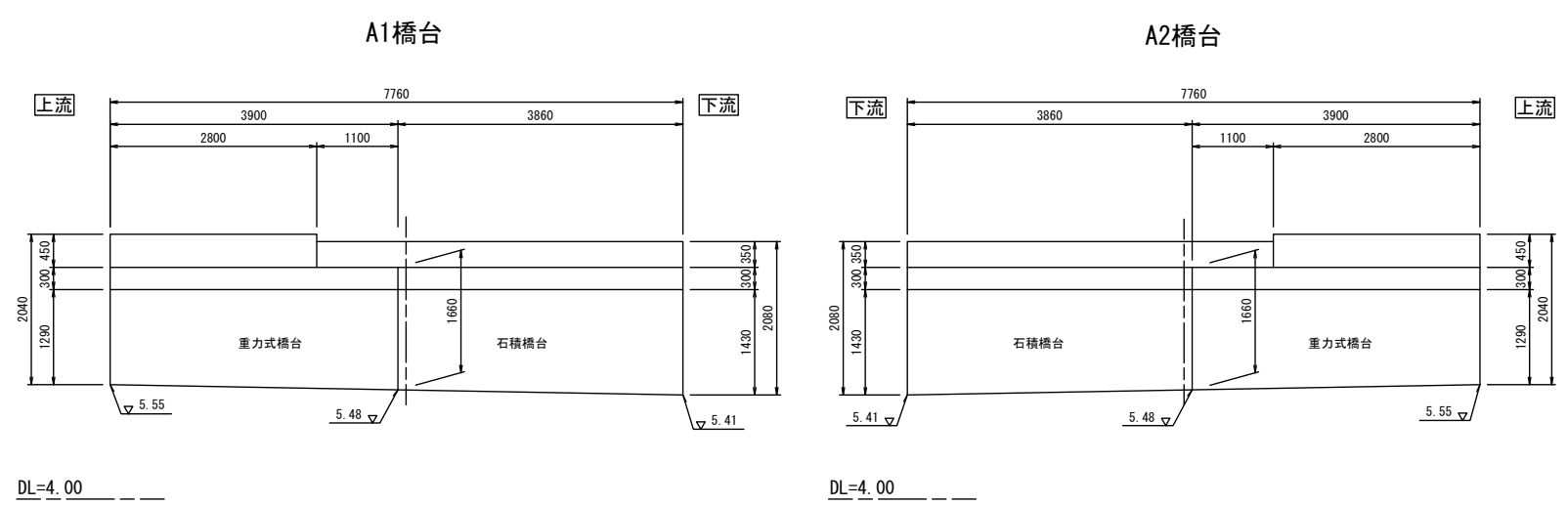
既設橋 設計条件 (推定)	
橋 種	道路橋
橋 長	L=4.00~4.20m
幅 員	車道幅員 W=7.38m
	歩道幅員 -
	合 計 W=7.38m
構 造 形 式	RC床版
下 部 構 造	A1橋台 重力式橋台、石積
	A2橋台 重力式橋台、石積
設 計 荷 重	不明
平 面 線 形	$\theta=75^\circ$
補修・補強履歴	不明
架 設 年 次	不明
適 用 示 方 書	不明

注記)
・ () 内の寸法は直角方向の寸法を示す。

平面図
S=1:50



下部工正面図
S=1:50



注記)
・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
・ 渡河する河川は室戸市管理である。
・ 本地区は砂防指定地である。

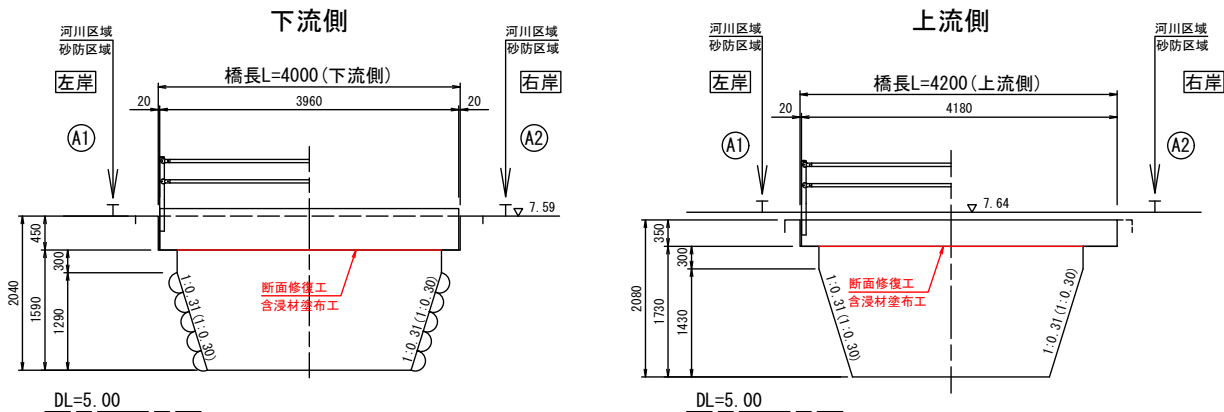
室 戸 市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	既設橋一般図	縮 尺	1:50
路線河川名	ヤナゴ谷橋(市道三津本線)		
工事箇所	室戸市室戸岬町三津		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	2 5
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

橋 梁 補 修 工 一 般 図

ヤナゴ谷橋(市道三津本線)

側 面 図

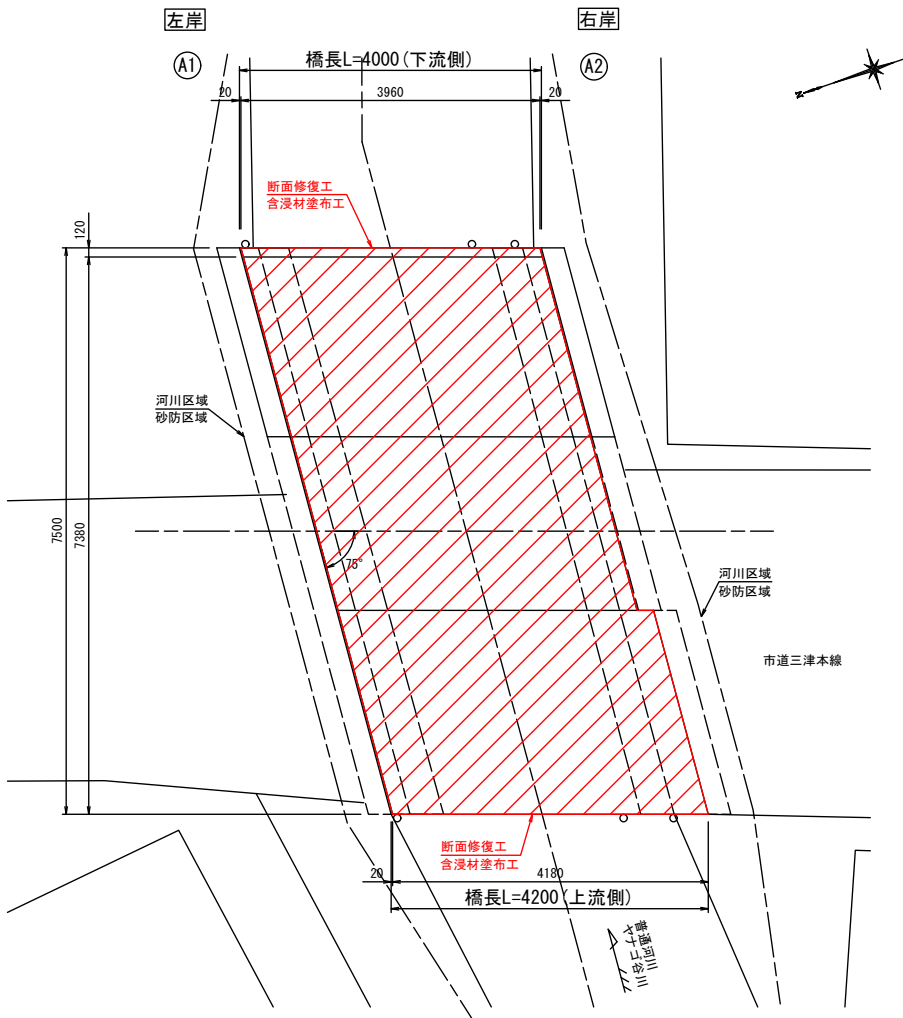
S=1:50



注記)
・ () 内の寸法は直角方向の寸法を示す。

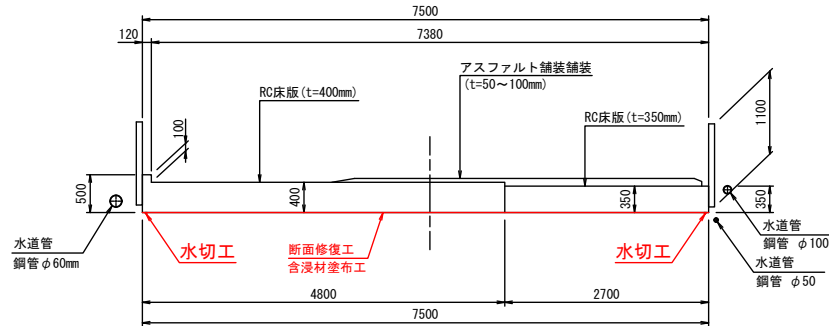
平 面 図

S=1:50



上部工断面図

S=1:50



ヤナゴ谷橋 コンクリート試験結果

項 目		単位	評価値	車道橋				備 考
				上流床版		下流床版		
				調査値	判定	調査値	判定	
圧縮強度		N/mm2	14.4	52.3	○	21.9	○	○:14.4以上
中性化	深 さ	mm		24.8		58.8		
	鉄筋純かぶり	mm		28.0		28.0		
	残り深さ	mm	10	3.2	×	-30.8	×	○:10以上
	到達年数	年	100	64	×	11	×	○:100以上
塩化物含有量試験		kg/m3	1.2	1.38	×	0.36	○	○:1.2以下

ヤナゴ谷橋 損傷一覧表

部材名称	損 傷					補修設計		備 考
	種 類	有無	判定区分		損傷の状態・原因	設計	対策工	
			点検	今回				
上部工 (鋼部材)	鋼材腐食、防食機能の劣化							
	鋼材腐食(板減あり)							
	亀裂、破断							
	鋼板のうき							
	ゆるみ、脱落							
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ	－	III	III				
	漏水・遊離石灰	－						
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			鉄筋のかぶり不足、中性化・塩害	○	断面修復工	
	豆板、欠損	－						
上部工 床 版 (コン部材)	ひびわれ							
	漏水・遊離石灰							
	剥離、鉄筋露出、浮き							
	豆板、欠損							
下部工	ひびわれ	－	I	I ～ II				
	遊離石灰	○			水の浸入	×		
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			経年劣化	×		
	豆板、欠損	－						
	洗掘	－						
支承工	腐食、防食機能の劣化	－	I	I				不可視
	機能障害	－						不可視
橋面工	As舗装のひび割れ、欠損	－	I	I ～ II				
	Co舗装のひび割れ、欠損	－						
	路面の凹凸	－						
	伸縮装置の損傷、機能不足	○			経年劣化による漏水	×		
	地覆のひび割れ、欠損他	○			経年劣化	○	断面修復工	
排水工	腐食、欠損							
	機能不足、滞水							
	長さ不足							
高欄工 (鋼部材)	変形・欠損	－	I	I				
	腐食・塗装劣化	－						
	ボルトの緩み・脱落	－						
	高さ不足	○			現行基準の高さ不足(h=720mm)		転落防止柵	
高欄工 (コン部材)	ひびわれ							
	漏水・遊離石灰							
	剥離、鉄筋露出、浮き							
	豆板、欠損							
コンクリート 試験結果	圧縮強度	上流	○	○	問題なし			別表参照
		下流	○	○	問題なし			別表参照
	中性化深度測定	上流	○	×	中止化残り深さが少ない(残り3.2mm)	○	含浸材塗布工	別表参照
		下流	○	×	鉄筋まで到達	○	含浸材塗布工	別表参照
	塩化物含有量 試験	上流	○	×	基準値超過	○	含浸材塗布工	別表参照
		下流	○	○	問題なし			別表参照

注記) ハッチング部は、損傷の判定区分IIIもしくはコンクリート試験のOUTを示す。

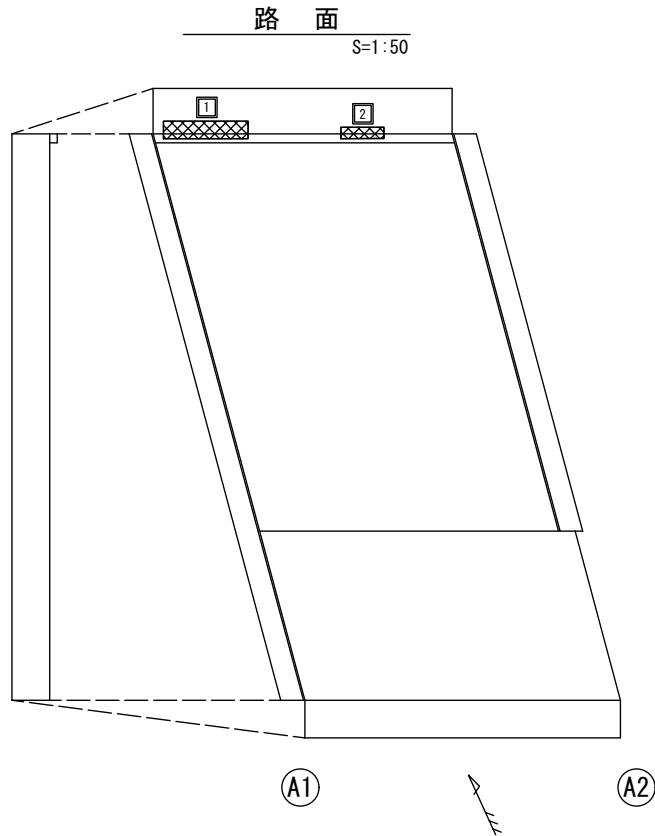
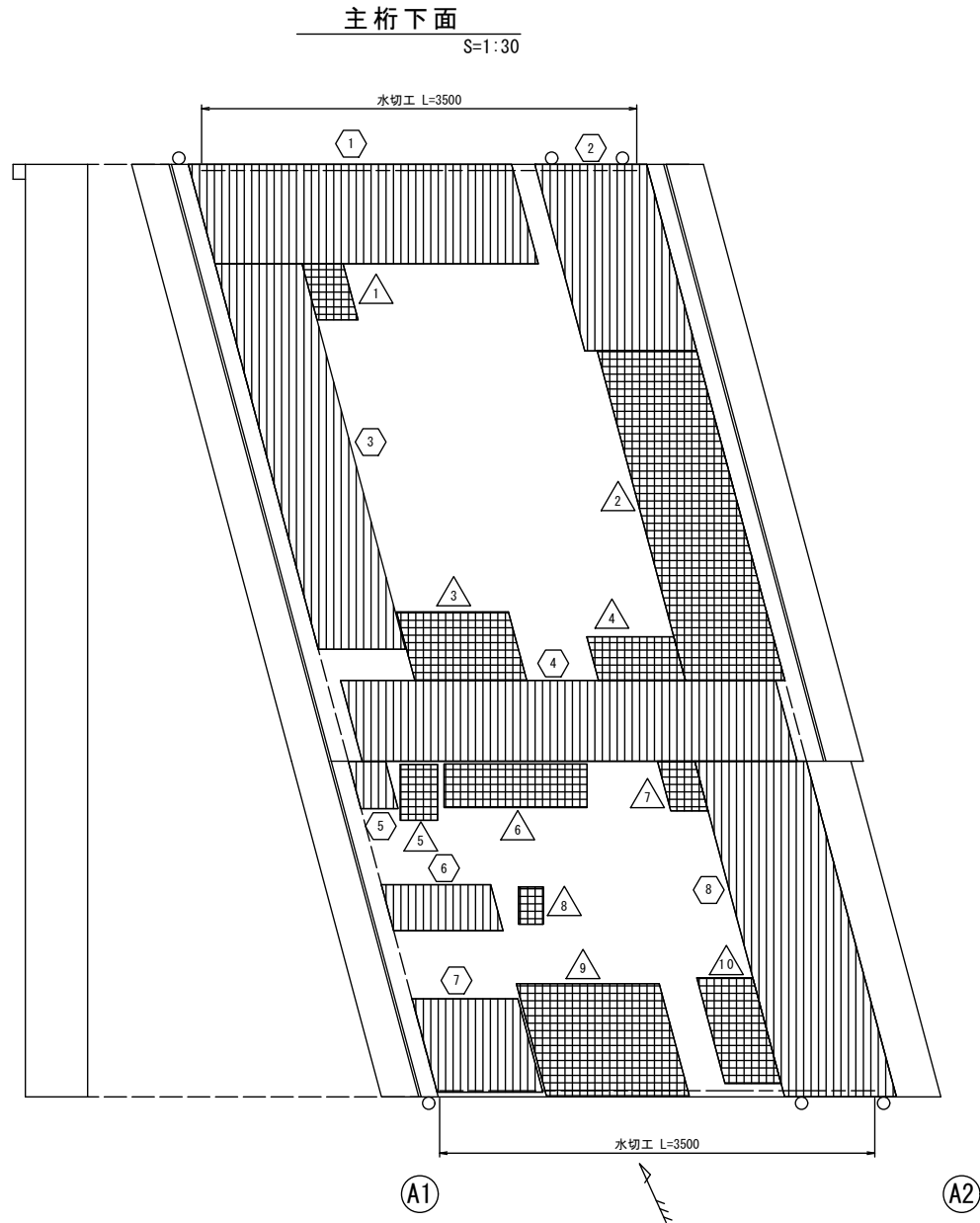
注記)
・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
・ 渡河する河川は室戸市管理である。
・ 本地区は砂防指定地である。

既設橋 設計条件(推定)	
橋 種	道路橋
橋 長	L=4.00~4.20m
幅 員	車道幅員 W=7.38m
	歩道幅員 -
	合 計 W=7.38m
構 造	RC中実床版
下 部 構 造	A1橋台 重力式橋台、石積
	A2橋台 重力式橋台、石積
設 計 荷 重	不明
平 面 線 形	θ=75°
補修・補強履歴	不明
架 設 年 次	不明
適 用 示 方 書	不明

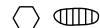
室 戸 市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁補修工一般図	縮 尺	1:50
路線河川名	ヤナゴ谷橋(市道三津本線)		
工事箇所	室戸市室戸岬町三津		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	3 5
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

コンクリート補修工詳細図

ヤナゴ谷橋(市道三津本線)



数量表
上部工



損傷 : 鉄筋露出
対策工 : 断面修復工

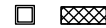
番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	2600	800	2.080
2	900	1500	1.350
3	700	3100	2.170
4	3500	650	2.275
5	300	380	0.114
6	880	370	0.326
7	750	850	0.638
8	900	2700	2.430
合計			11.38



損傷 : うき
対策工 : 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	330	450	0.149
2	800	2650	2.120
3	550	900	0.495
4	700	350	0.245
5	300	450	0.135
6	1150	350	0.403
7	300	400	0.120
8	200	300	0.060
9	1150	900	1.035
10	450	850	0.383
合計			5.15

数量表
路面



損傷 : 欠損
対策工 : 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	1120	230	0.258
2	570	150	0.086
合計			0.34

損傷凡例(コンクリート)

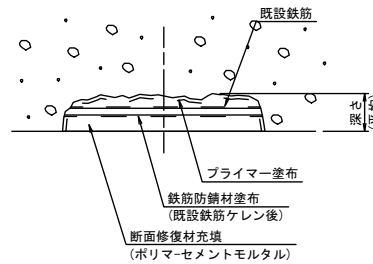
記号	番号	損傷		補修対象
		状態	有無 作図	
〰	◇	ひびわれ (W<0.2mm)		
〰	○	ひびわれ (0.2mm≦W<1.0mm)		
〰	◇	ひびわれ (1.0mm≦W)		
〰	▽	遊離石灰		
〰	△	漏水		
〰	□	剥離		
〰	◇	鉄筋露出	○	○
〰	△	浮き	○	○
〰	◇	豆板		
〰	□	欠損	○	○
〰	◇	洗掘		

・損傷のある場合は「○」を示す。

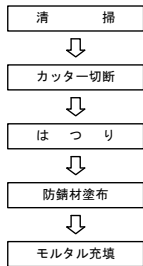
断面修復工(左官工法)

S=1:3

損傷 : 鉄筋露出、浮き、欠損



断面修復工施工フロー



断面修復工(深さt=50mm)

10m2当り

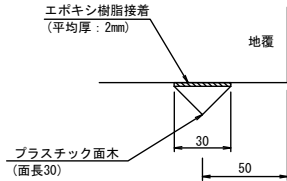
名 称	単位	数量	備 考
ポリマーセメント系モルタル	m3	0.59	10×0.050×1.18

注記)

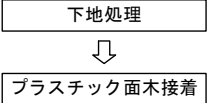
- ・上表は、深さ50mmの数量を示す。
- ・断面修復工の深さは鉄筋探査の結果より設定している。
- ・施工の際は、損傷箇所の鉄筋かぶりや損傷状況に応じてはつり深さを適宜変更し、現地実測のうえで数量を確定すること。

水切工

S=1:2



水切工施工フロー



注記)

- ・本図ではプラスチック面木としている。
- ・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。

注記)

- ・上部工下面の補修工事は施工時の交通開放を前提としているため、安全対策として断面修復工については上下流を分割して施工すること。

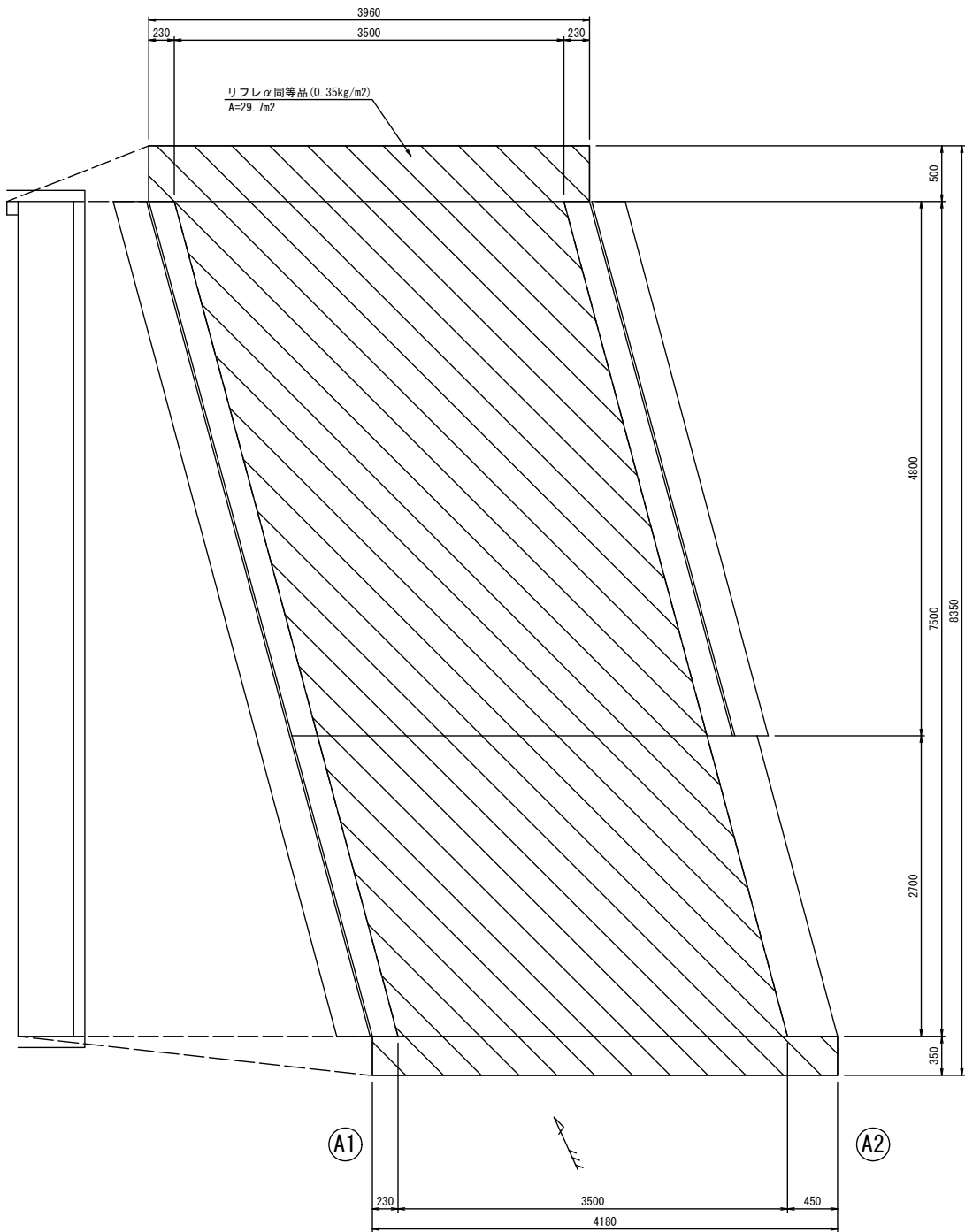
室 戸 市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	コンクリート補修工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	ヤナゴ谷橋(市道三津本線)		
工事箇所	室戸市室戸岬町三津		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	4
事務所名	室戸市建設土木課		5
会 社 名			

表面含浸工詳細図

ヤナゴ谷橋(市道三津本線)

主桁下面

S=1:30



ヤナゴ谷橋

表面含浸工塗布量参考値 (リフレα)

部材名	鉄筋	鉄筋径 (mm)	かぶり		塩素量 (試験値) (kg/m3)	モル比 濃度(%)	計算 係数	塗布量		備考
			縁端 (cm)	中心 (cm)				計算値 (kg/m2)	設計値 (kg/m2)	
上流 RC床版	主鉄筋	φ22	2.8	3.9	1.38	1:1	0.0596	0.321	α	
	配力筋	φ19	5.0	6.0	0.34	25%	0.0596	0.121	0.35	
下流 RC床版	主鉄筋	φ22	2.8	3.9	0.36	1:1	0.0596	0.084	α	
	配力筋	φ19	5.0	6.0	0.07	25%	0.0596	0.025	0.20	

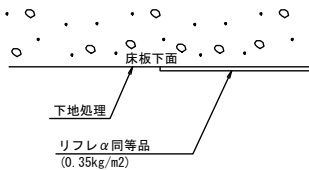
係数一覧

モル比	濃度(%)	係数
0.6	25	0.0358
0.6	40	0.0224
1	25	0.0596
1	40	0.0373

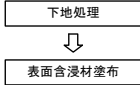
- 塗布量計算値＝中心かぶり×塩素量×計算係数
- 鉄筋径と縁端かぶりは調査に基づく推定値。塩素量は試験値を示す。
- 塗布量は材料により異なるため、使用する材料を決定した後、適切な塗布量を検討すること。
- 表中の赤枠は含浸材塗布量の決定根拠を示す。

含浸材塗布工

中性化・塩害対策



含浸材塗布工エフロー



ヤナゴ谷橋 コンクリート試験結果

項 目		単位	評価値	車道橋				備 考
				上流床版		下流床版		
				調査値	判定	調査値	判定	
圧縮強度		N/mm2	14.4	52.3	○	21.9	○	○:14.4以上
中性化	深 さ	mm		24.8		58.8		
	鉄筋純かぶり	mm		28.0		28.0		
	残り深さ	mm	10	3.2	×	-30.8	×	○:10以上
	到達年数	年	100	64	×	11	×	○:100以上
塩化物含有量試験		kg/m3	1.2	1.38	×	0.36	○	○:1.2以下

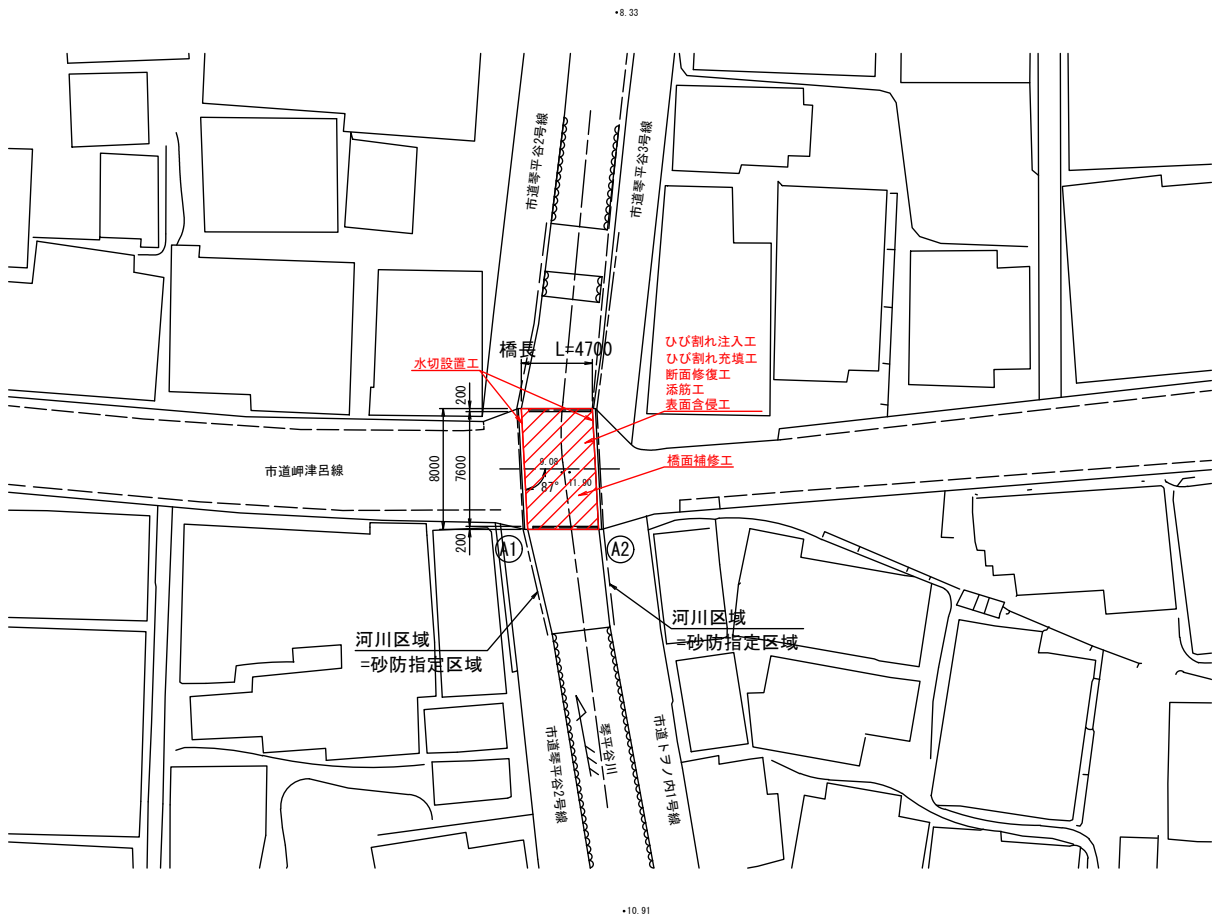
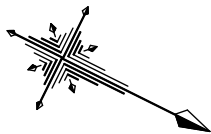
室 戸 市

工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	表面含浸工詳細図	縮 尺	図示
路線河川名	ヤナゴ谷橋(市道三津本線)		
工事箇所	室戸市室戸岬町三津		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	5
事務所名	室戸市建設土木課		5
会 社 名			

平 面 図

琴平橋(市道岬津呂線)

S=1:250



注記)
・ 現況地形は道路台帳を基に作成している。
・ 既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

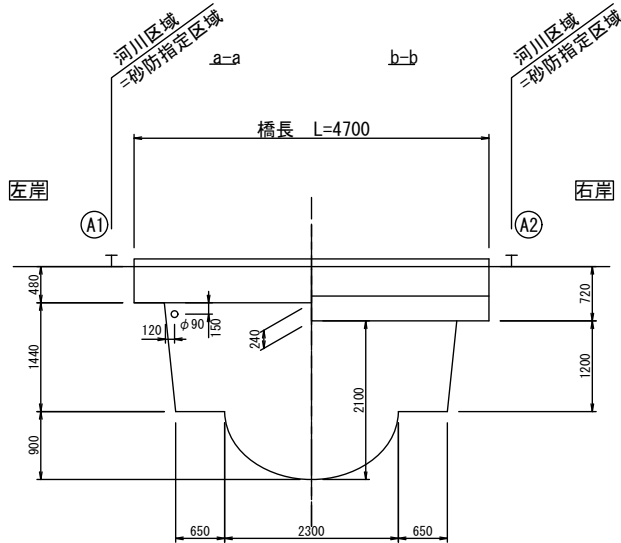
室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	平面図	縮 尺	1:250
路線河川名	琴平橋（岬津呂線）		
工事箇所	室戸市 室戸岬町 津呂		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	1 8
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

既設橋一般図

琴平橋(市道岬津呂線)

側面図

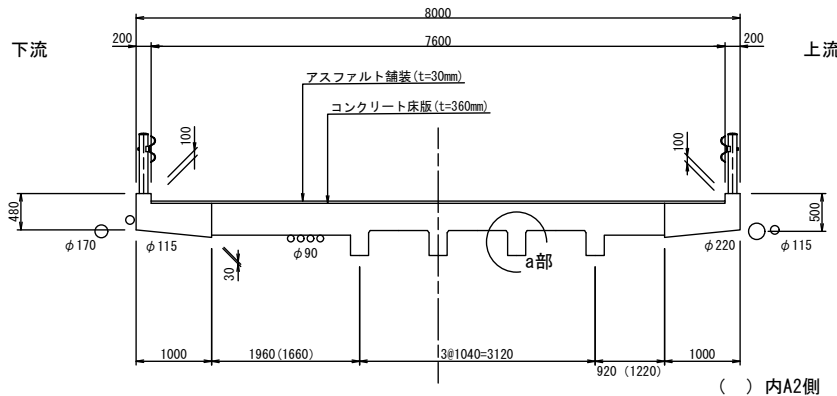
S=1:50



DL=8.00

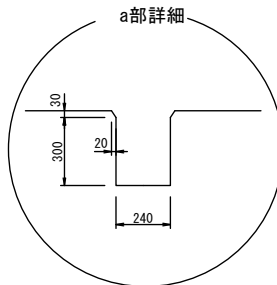
上部工断面図

S=1:50



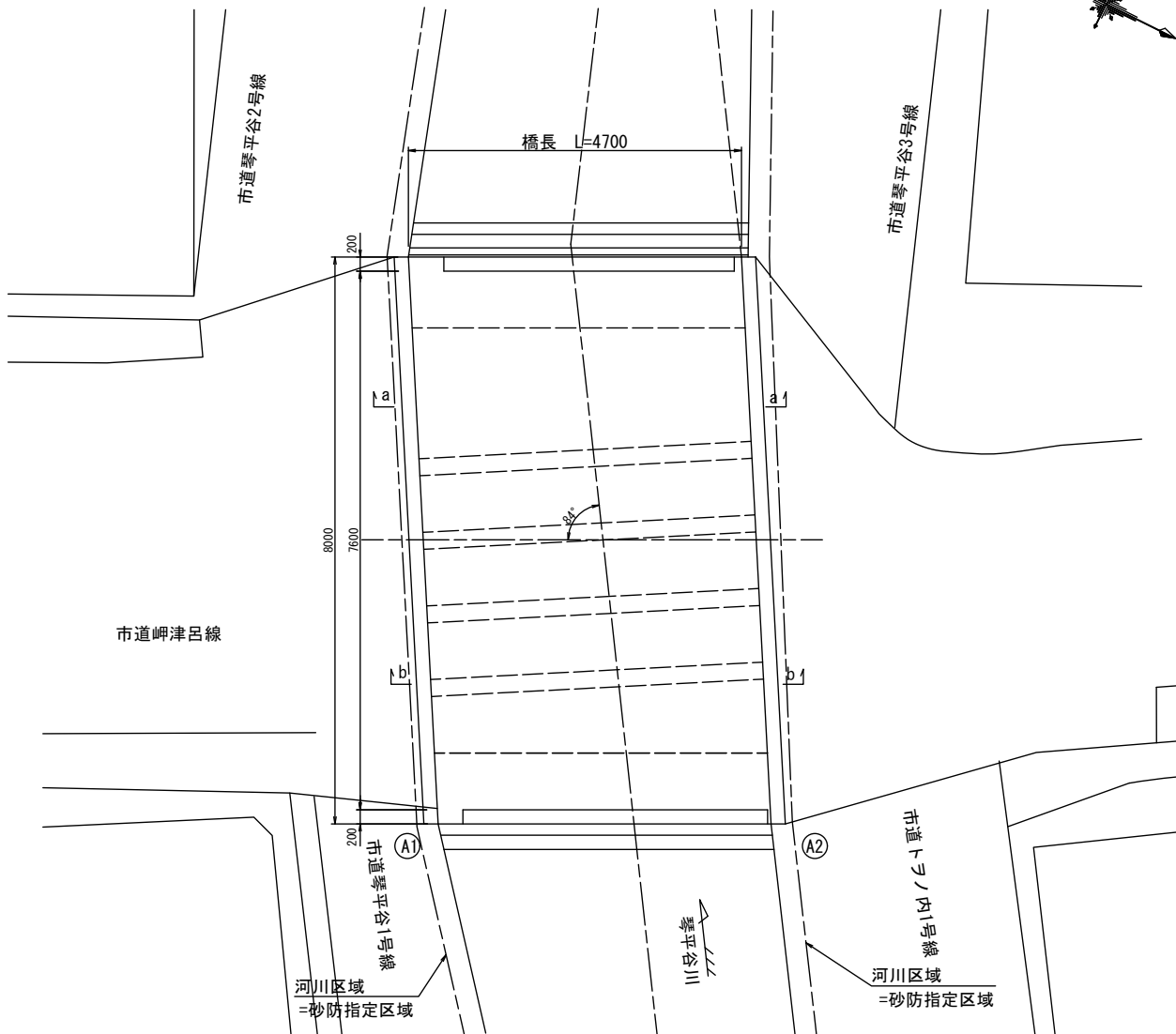
() 内A2側

a部詳細



平面図

S=1:50



既設橋 設計条件(推定)		
橋 種	道路橋	
橋 長	L=4.70m	
幅 員	車道幅員	W=7.60m
	歩道幅員	-
	合 計	W=7.60m
構造形式	上部構造	RC中実床板橋, RCT桁橋
	下部構造	A1橋台 重力式(石積)橋台
		A2橋台 重力式(石積)橋台
設計荷重	不明	
平面線形	$\theta=87^\circ$	
補修・補強履歴	不明	
架設年次	不明	
適用示方書	不明	

河川設計条件(推定)	
河 川 名	琴平谷川
管 理 者	室戸市
土砂災害指定	砂防指定地
計 画 規 模	非出水期(11月~2月)
流 域 面 積	A=0.24km ²
流 出 係 数	0.8
洪水到達時間	t=10分
降 雨 強 度	r=102.0mm/hr
計画高水流量	Q=6.0m ³ /s
計 算 水 深	H=0.86m
河川の余裕高	+0.60m
橋梁余裕高	+0.50m
河 川 幅	W=2.28m
水 位 計 算	等流計算

注記)
・河川の設計条件は、現地調査や既存資料などから推定している。

- 注記)
- ・現況地形は道路台帳を基に作成している。
 - ・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
 - ・河川は室戸市管理である。
 - ・本地区は砂防指定地である。

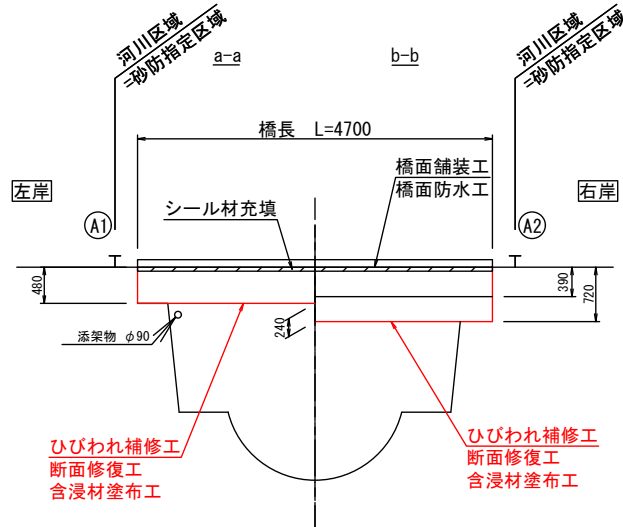
室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	既設橋一般図	縮 尺	図 示
路線河川名	琴平橋（岬津呂線）		
工事箇所	室戸市 室戸岬町 津呂		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	2 8
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

橋梁補修工一般図

琴平橋(市道岬津呂線)

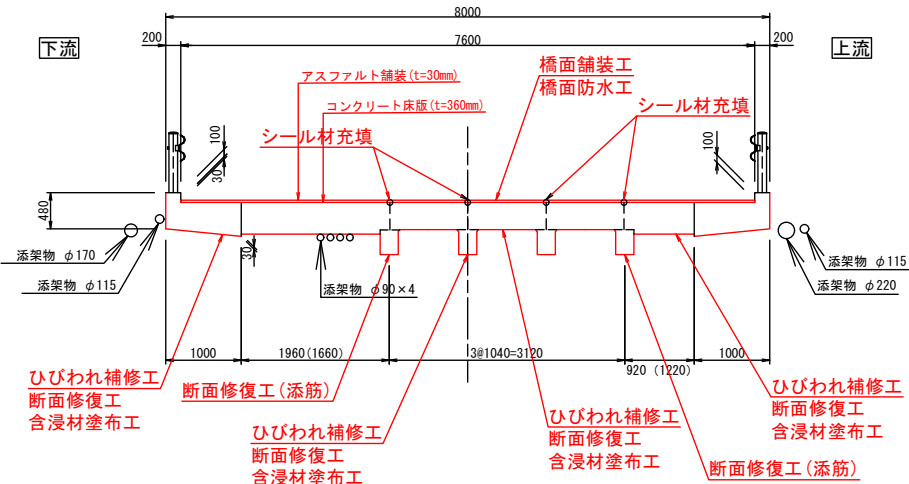
側面図

S=1:50



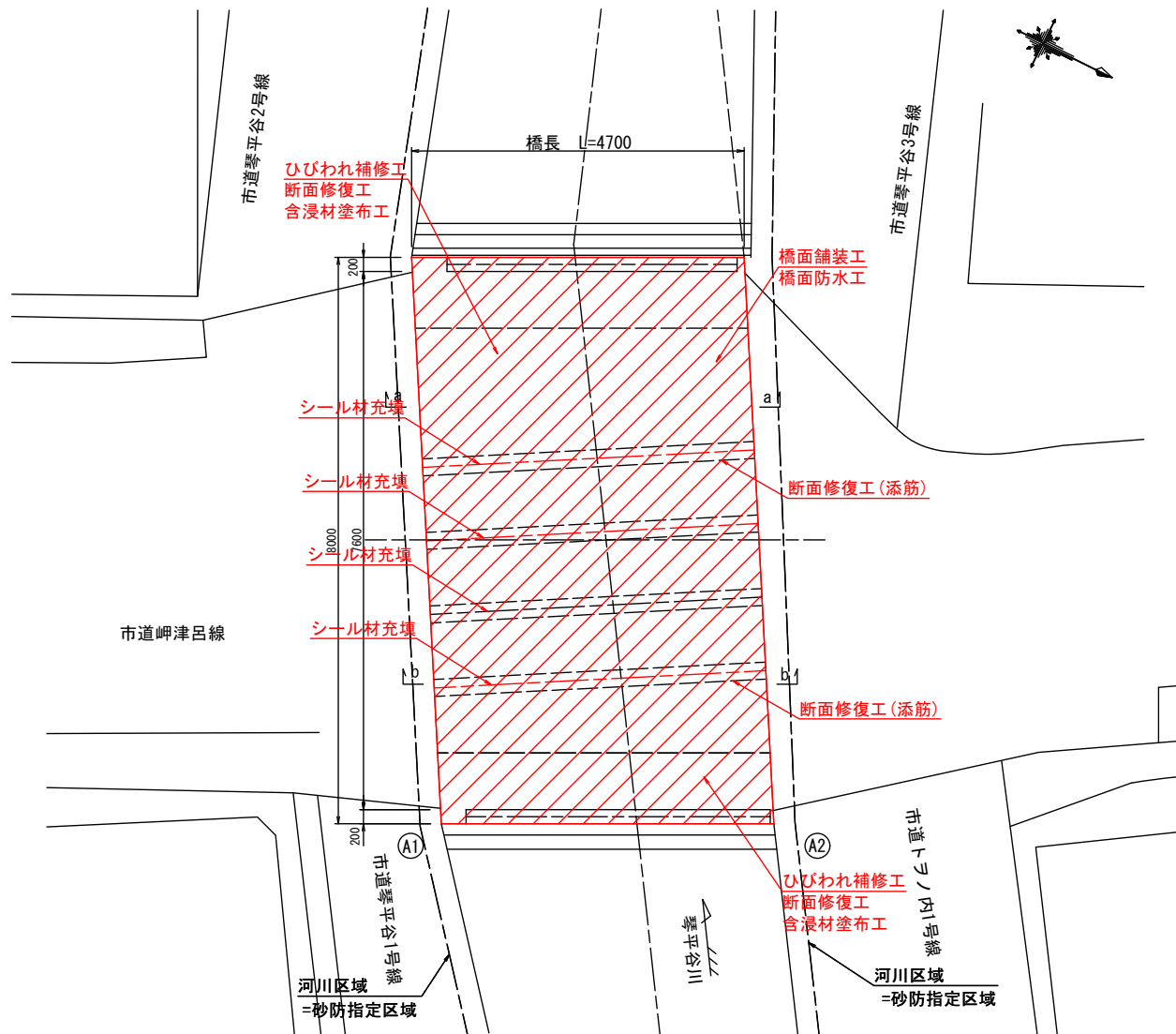
上部工断面図

S=1:50



平面図

S=1:50



既設橋 設計条件(推定)			
橋 種	道路橋		
橋 長	L=4.70m		
幅 員	車道幅員	W=7.60m	
	歩道幅員	-	
	合 計	W=7.60m	
構造形式	上部構造	RC中実床板橋、RC桁橋	
	下部構造	A1橋台	重力式(石積)橋台
		A2橋台	重力式(石積)橋台
設計荷重	不明		
平面線形	θ=87°		
補修・補強履歴	不明		
架設年次	不明		
適用示方書	不明		

河川設計条件(推定)	
河 川 名	琴平谷川
管 理 者	室戸市
土砂災害指定	砂防指定地
計画規模	非出水期(11月~2月)
流域面積	A=0.24km ²
流出係数	0.8
洪水到達時間	t=10分
降雨強度	r=102.0mm/hr
計画高水流量	Q=6.0m ³ /s
計算水深	H=0.86m
河川の余裕高	+0.60m
橋梁余裕高	+0.50m
河 川 幅	W=2.28m
水位計算	等流計算

注記)
・河川の設計条件は、現地調査や既存資料などから推定している。

(表-1) 琴平橋 損傷調査一覧表

部材名称	損 傷				補修設計		備 考
	種 類	有無	判定区分		損傷の状態・原因	設計	対策工
			点検	今回			
上部工 (鋼部材)	鋼材腐食、防食機能の劣化						
	鋼材腐食(板減あり)						
	亀裂、破断						
	鋼板のうき						
	ゆるみ、脱落						
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ	○	Ⅲ	Ⅲ	鉄筋のかぶり不足、中性化・塩害の進行による鋼材腐食	○	ひびわれ補修工
	漏水・遊離石灰	○			打継目からの漏水	○	ひびわれ補修工
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			鉄筋のかぶり不足、中性化・塩害の進行による鋼材腐食	○	断面修復工(添筋)
	豆板、欠損	-					
	ひびわれ	-					
上部工 床 版 (コン部材)	漏水・遊離石灰	○	Ⅱ	Ⅱ	鉄筋のかぶり不足、塩害の進行による鋼材腐食	○	ひびわれ補修工
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			鉄筋のかぶり不足、塩害の進行による鋼材腐食	○	断面修復工
	豆板、欠損	-					
	ひびわれ	-					
	遊離石灰	-					
下部工	剥離、鉄筋露出、浮き	○	Ⅰ	Ⅰ	不明	×	
	豆板、欠損	-					
	洗掘	-					
	ひびわれ	-					
	遊離石灰	-					
支 承 工	腐食、防食機能の劣化		Ⅰ	Ⅰ			
	機能障害						
橋 面 工	As舗装のひび割れ、欠損	-	Ⅰ	Ⅰ		○	橋面補修工 シーリング材充填
	Co舗装のひび割れ、欠損	-					
	路面の凹凸	-					
	伸縮装置の損傷、機能不足	-					
排水工	腐食、欠損						
	機能不足、滞水						
高欄工 (鋼部材)	変形・欠損	○			不明	×	
	腐食・塗装劣化	○			塗膜劣化による鋼材腐食	×	
	ボルトの緩み・脱落	-					
	ひびわれ						
高欄工 (コン部材)	漏水・遊離石灰						
	剥離、鉄筋露出、浮き						
	豆板、欠損						
	圧縮強度		○		別紙参照		
コンクリート試験結果	中性化深度測定		×		別紙参照	○	含浸材塗布工
	塩化物含有量試験		×		別紙参照	○	含浸材塗布工

注記) ハッチング部は、損傷の判定区分Ⅲもしくはコンクリート試験のOUTを示す。

琴平橋 コンクリート試験結果

項 目	単位	評価値	上流床板		下流床板		T桁側面		備 考
			調査値	判定	調査値	判定	調査値	判定	
圧縮強度	N/mm ²	18	39.5	○	33.2	○	36.8	○	○:18以上
中性化	深 さ	mm			6.0		0.5		47.1
	残り深さ	mm	10	○	24.0	○	44.5	○	-7.1
	到達年数	年	100	○	1246	○	413265	○	36.0
塩化物含有量試験	kg/m ³	1.2	1.78	×	1.17	△	1.12	△	○:1.2以下

- 注記)
- ・現況地形は道路台帳を基に作成している。
 - ・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。
 - ・河川は室戸市管理である。
 - ・本地区は砂防指定地である。

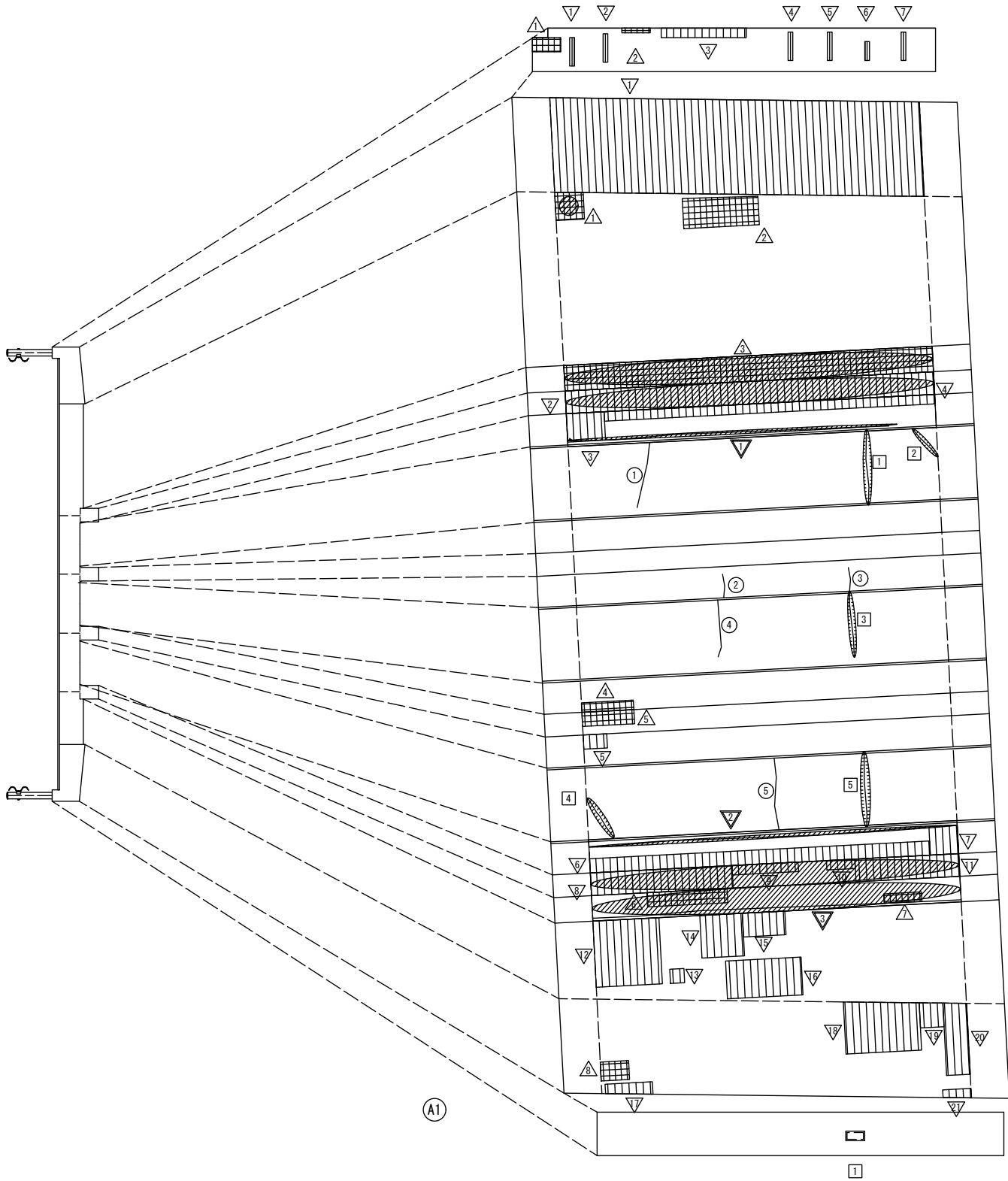
室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁補修工一般図	縮尺	図示
路線河川名	琴平橋(市道岬津呂線)		
工事箇所	高知県 室戸市室戸岬町津呂		
設計種別	実施設計	図面 番号	3 8
事務所名	室戸市建設土木課		
会社名			

コンクリート補修工詳細図(その1)

琴平橋(市道岬津呂線)

上部工展開図

S=1:30



注記)
・図中の赤枠は添筋工の対象範囲である。
・添筋の本数、延長などは現地実測の上、適宜変更すること。

三谷土橋

損傷数量表



損傷 : 鉄筋露出
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	3900	1000	3.900
2	3900	240	0.936
3	400	300	0.120
4	3500	100	0.350
5	250	150	0.038
6	3600	150	0.540
7	300	300	0.090
8	1500	240	0.360
9	700	100	0.070
10	300	100	0.030
11	1100	240	0.264
12	700	700	0.490
13	150	150	0.023
14	450	450	0.203
15	400	250	0.100
16	800	400	0.320
17	500	100	0.050
18	800	500	0.400
19	250	250	0.063
20	250	750	0.188
21	300	100	0.030
合計			8.57



損傷 : うき
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	300	300	0.090
2	800	300	0.240
3	3900	270	1.053
4	550	100	0.055
5	550	150	0.083
6	850	150	0.128
7	400	100	0.040
8	300	200	0.060
合計			1.75



損傷 : ひびわれ (W=0.2~1.0mm未満)
対策工: ひび割れ注入工

番号	W (mm)	L (mm)
1	0.2	700
2	0.2	250
3	0.2	250
4	0.2	600
5	0.4	750
合計		2550



損傷 : ひびわれ (W=1.0mm以上)
対策工: ひび割れ充填工

番号	W (mm)	L (mm)
1	1.5	3000
2	1.5	3600
3	1.5	3900
合計		10500



損傷 : 遊離石灰
対策工: ひび割れ充填工

番号	L (mm)
1	800
2	400
3	700
4	500
5	800
合計	3200

地 覆(下流)



損傷 : 鉄筋露出
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	50	300	0.015
2	50	300	0.015
3	900	100	0.090
4	50	300	0.015
5	50	300	0.015
6	50	200	0.010
7	50	300	0.015
合計			0.18

地 覆(上流)



損傷 : 剥離
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	200	100	0.020
合計			0.02



損傷 : うき
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	300	150	0.045
2	300	50	0.015
合計			0.06

損傷凡例(コンクリート)

記 号	番号	損 傷			補修 対象
		状態	有無	作因	
〰	◇	ひびわれ (W<0.2mm)	○		
〰	○	ひびわれ (0.2mm≦W<1.0mm)	○	○	○
〰	▽	ひびわれ (1.0mm≦W)	○	○	○
〰	□	遊離石灰	○	○	○
〰	△	漏水	○	○	○
〰	□	剥離	○	○	○
〰	○	鉄筋露出	○	○	○
〰	△	浮き	○	○	○
〰	◇	豆板			
〰	□	欠損			
〰	▽	洗掘			

・損傷のある場合は「○」を示す。

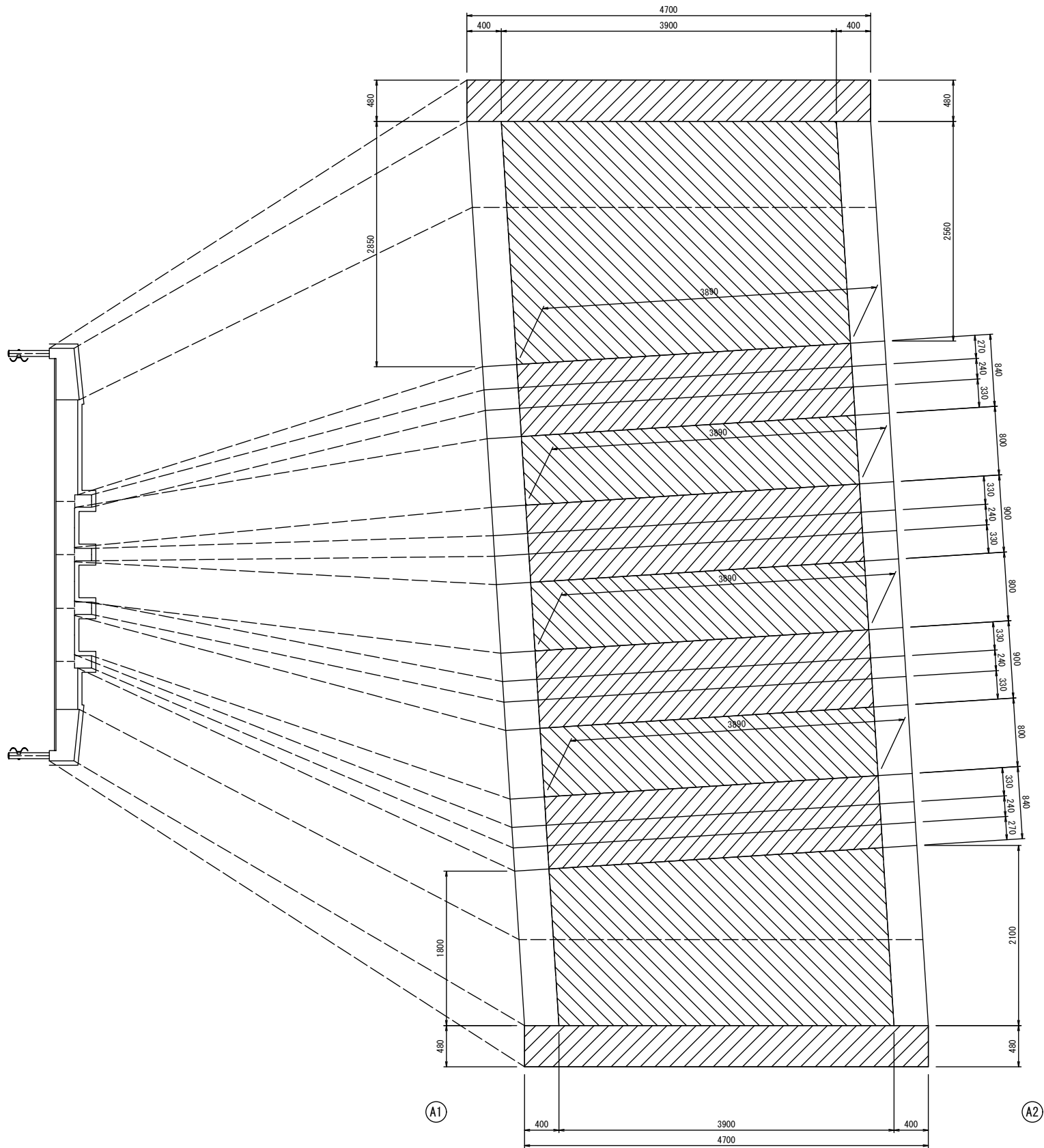
室戸市				
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事			
図面名称	コンクリート補修工詳細図 (その1)	縮 尺	図 示	
路線河川名	琴平橋（岬津呂線）			
工事箇所	室戸市 室戸岬町 津呂			
設計種別	実施設計	図 面 番 号	4	
事務所名	室戸市建設土木課		8	
会 社 名				

表面含浸工詳細図

琴平橋(市道岬津呂線)

上部工展開図

S=1:30



09_琴平橋

表面含浸工塗布量参考値（リフレα）

部材名	鉄筋	鉄筋径 (mm)	かぶり		塩素量 (試験値) (kg/m3)	モル比 濃度 (%)	計算 係数	塗布量		備考
			線端 (cm)	中心 (cm)				計算値 (kg/m2)	設計値 (kg/m2)	
上流 RC床版	主鉄筋	φ16	3.0	3.8	1.78	1:1	0.0373	0.252	α40	
	配力筋	φ13	4.6	5.3	1.57			0.307	0.35	
下流 RC床版	主鉄筋	φ16	4.5	5.3	1.17	1:1	0.0373	0.231	α40	
	配力筋	φ13	6.1	6.8	0.46			0.116	0.25	
T桁	配力筋	φ9	4.0	4.5	1.12	1:1	0.0373	0.186	α40	
	主鉄筋	φ19	4.9	5.9	0.24			0.052	0.20	

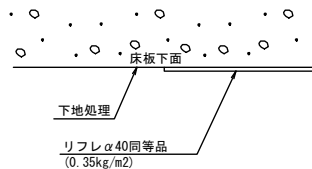
- 塗布量計算値＝中心かぶり×塩素量×計算係数
- 鉄筋径と線端かぶりは調査に基づく推定値、塩素量は試験値を示す。
- 塗布量は材料により異なるため、使用する材料を決定した後、適切な塗布量を検討すること。
- 表中の赤枠は含浸材塗布量の決定根拠を示す。

係数一覧

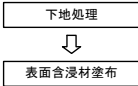
モル比	濃度 (%)	係数
0.6	25	0.0358
0.6	40	0.0224
1	25	0.0596
1	40	0.0373

含浸材塗布工

中性化・塩害対策



含浸材塗布工エフロー



琴平橋 コンクリート試験結果

項 目	単位	評価値	上流床板		下流床板		T桁側面		備 考
			調査値	判定	調査値	判定	調査値	判定	
圧縮強度	N/mm2	18	39.5	○	33.2	○	36.8	○	○:18以上
中性化	深 さ	mm	6.0		0.5		47.1		
	残り深さ	mm	10	○	44.5	○	-7.1	×	○:10以上
	到達年数	年	100	○	413265	○	36.0	×	○:100以上
塩化物含有量試験	kg/m3	1.2	1.78	×	1.17	△	1.12	△	○:1.2以下

室戸市

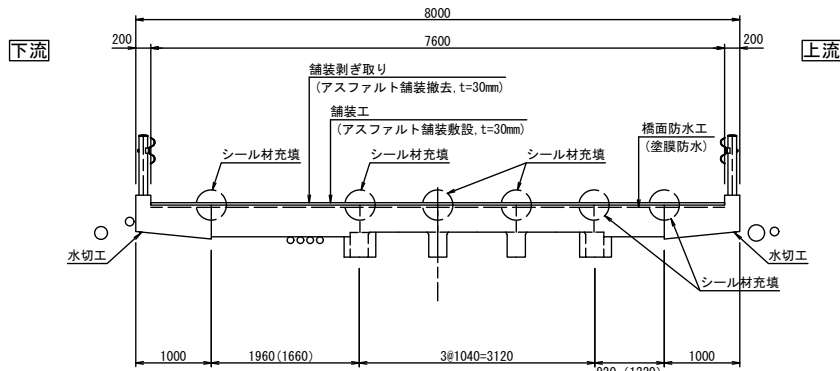
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	表面含浸工詳細図	縮 尺	図 示
路線河川名	琴平橋(岬津呂線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町 津呂		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	6 8
事務所名	室戸市建設土木課		
会 社 名			

橋面補修工詳細図

琴平橋(市道岬津呂線)

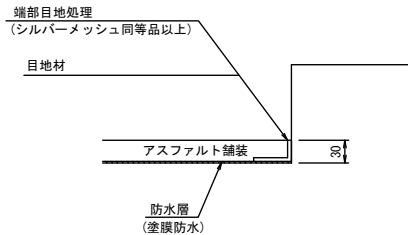
上部工断面図

S=1:50



端部詳細図

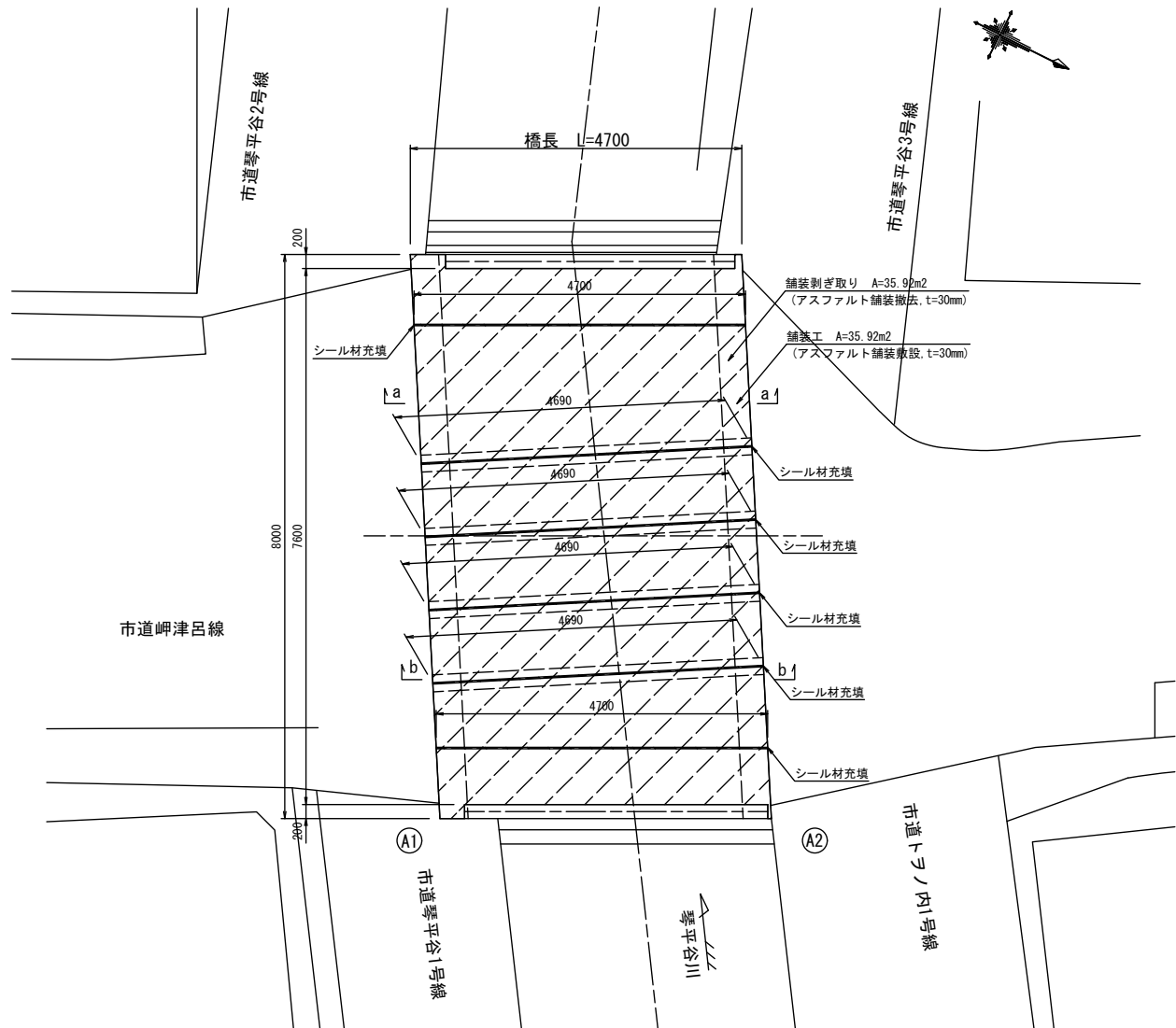
S=1:5



注記)
・橋面でのコア削孔調査の結果、アスファルト舗装t=30mmと推定している。
・施工前に既設舗装厚を確認し、舗装厚さ等について適宜変更すること。
・施工前調査の結果、As舗装がt=50mmとなる場合、シート防水に変更すること。

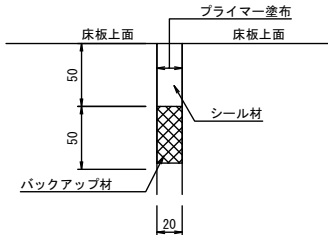
平面図

S=1:50



シーリング材充填図

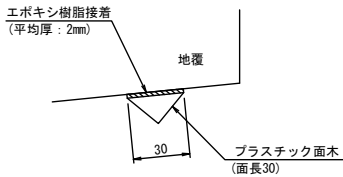
S=1:3



注記)
・床板下面への漏水を防止するため、打継目へのシーリング材充填を行う。
・打継目の間隔が狭く、シーリング材の充填が困難な場合はひび割れ充填工などの代替工を検討すること。

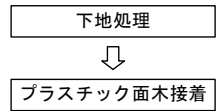
水切工

S=1:2



注記)
・本図ではプラスチック面木としている。
・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。

水切工施工フロー



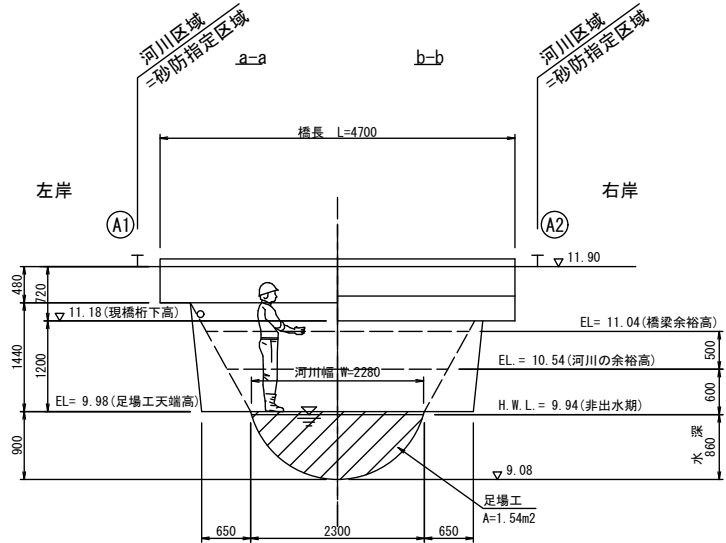
室戸市			
工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	橋面補修工詳細図	縮尺	図示
路線河川名	琴平橋(市道岬津呂線)		
工事箇所	高知県 室戸市室戸岬町津呂		
設計種別	実施設計	図面 番号	7 8
事務所名	室戸市建設土木課		
会社名			

仮設工詳細図（参考図）

琴平橋（市道岬津呂線）

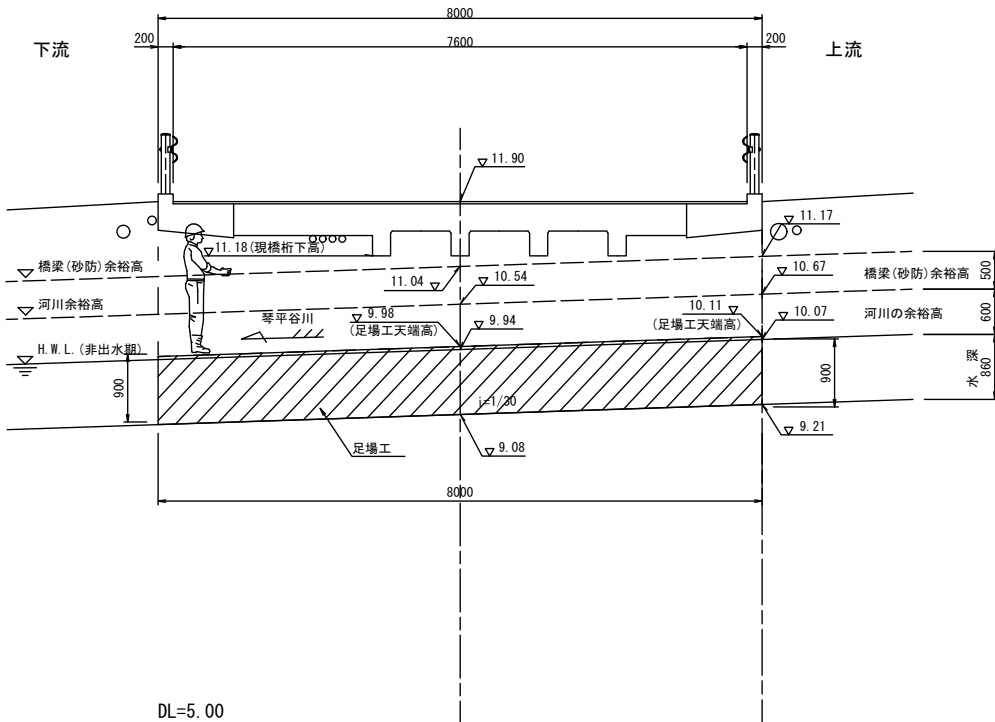
側面図

S=1:50



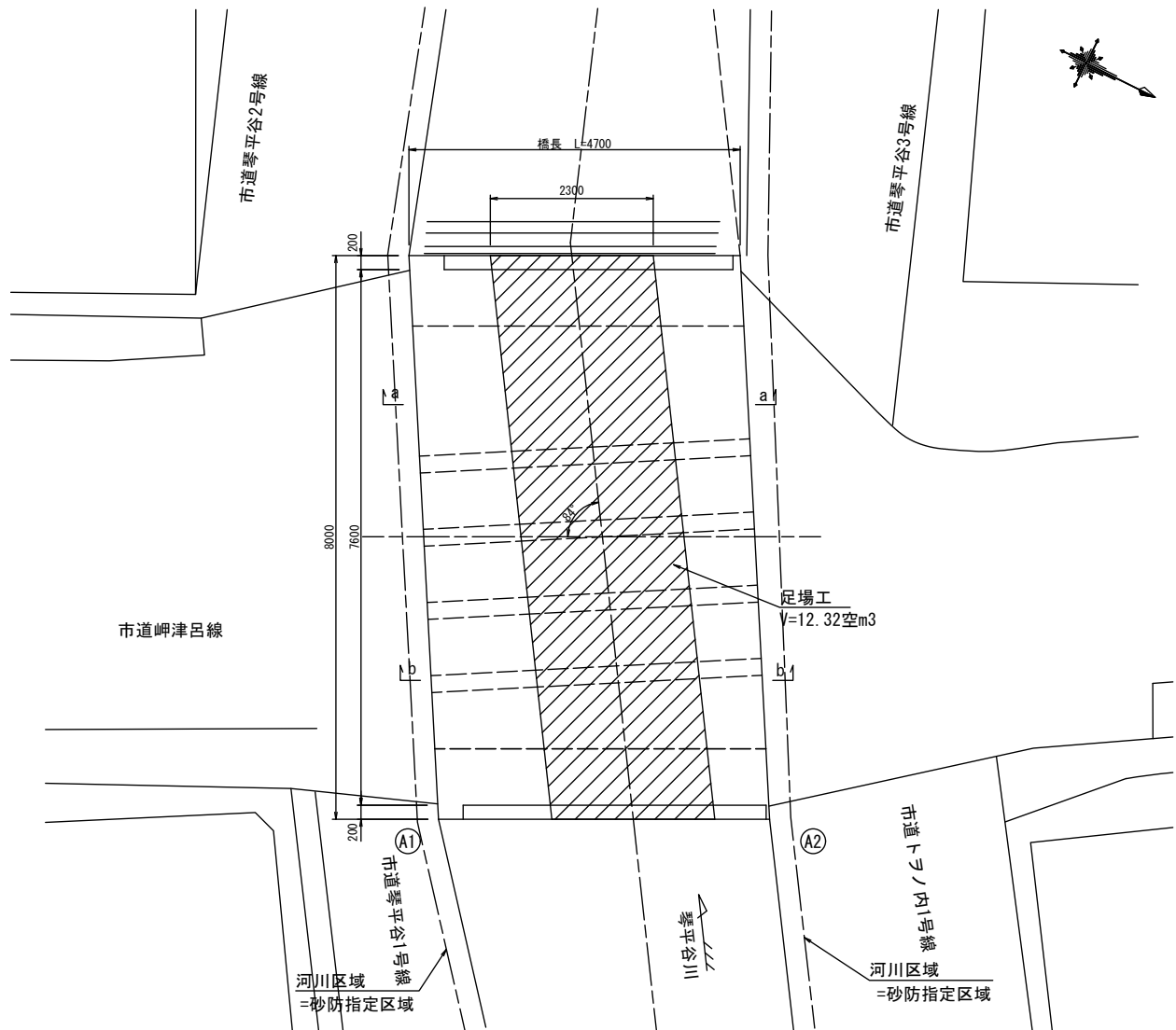
河川縦断面図

S=1:50



平面図

S=1:50



河川設計条件(推定)

河川名	琴平谷川
管理者	室戸市
土砂災害指定	砂防指定地
計画規模	非出水期(11月～2月)
流域面積	A=0.24km ²
流出係数	0.8
洪水到達時間	t=10分
降雨強度	r=102.0mm/hr
計画高水流量	Q=6.0m ³ /s
計算水深	H=0.86m
河川の余裕高	+0.60m
橋梁余裕高	+0.50m
河川幅	W=2.28m
水位計算	等流計算

注記)
・河川の設計条件は、現地調査や既存資料などから推定している。

〔施工に関する注意事項〕

- 仮設工の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
- 河川内での作業は非出水期(11～2月)とし、出水状況について十分に注意すること。
- 環境対策を十分に行うこと。
騒音・振動の低減、水質汚濁の防止、大気汚染や粉塵飛散の防止、悪臭発生の防止
- 通行に関する安全対策を十分に実施し、一般車両や歩行者の安全を確保すること。
- 降雨が予想される場合、仮設材を撤去すること。
施工時と同様に急な降雨などにより水位の上昇が想定される場合、直ちに作業を中止し、仮設材を撤去すること。

室戸市

工事種別	令和8年度 道路メンテ 第4号 カラ谷橋外 橋梁修繕工事		
図面名称	仮設工詳細図(参考図)	縮尺	1:50
路線河川名	琴平橋(岬津呂線)		
工事箇所	室戸市 室戸岬町 津呂		
設計種別	実施設計	図面 番号	8
事務所名	室戸市建設土木課		8
会社名			